

(様式第10)

厚生労働大臣 殿

令和 7年

兵医法第 40 号

10月 3日

開設者名

学校法人 兵庫医科大学  
理事長 太城 力良

兵庫医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
氏名	学校法人 兵庫医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

兵庫医科大学病院
----------

3 所在の場所

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
電話( 0798 ) 45 - 6111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科	<input type="radio"/>	

診療実績

- ・内分泌内科、代謝内科の診療内容は「内分泌・代謝内科」で提供。
- ・腎臓内科の診療内容は、「腎臓・人工透析内科」で提供。
- ・感染症内科の診療内容は、主として総合内科および感染制御部で提供
- ・神経内科の診療内容は「脳神経内科」にて提供。

- (注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
・乳腺外科、内分泌外科の診療内容は「乳腺・内分泌外科」で提供。							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	リハビリテーション科	2	臨床検査科	3	病理診断科	4	糖尿病内科	5	肝臓・胆のう・膵臓内科
6	腫瘍内科	7	形成外科	8	美容外科	9	頭頸部外科	10	ペインクリニック・疼痛緩和外科
11	内分泌・代謝内科	12	脳神経内科	13	腎臓・人工透析内科	14	乳腺・内分泌外科	15	歯科口腔外科
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
44	0	0	0	919	963

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	518	67	527.1	看護補助者	144	診療エックス線技師	0
歯科医師	20	2	20.4	理学療法士	45	臨床検査技師	99
薬剤師	80	0	80	作業療法士	16	衛生検査技師	0
保健師	0	0	0	視能訓練士	13	その他	0
助産師	32	1	32.2	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	950	27	966.2	臨床工学士	29	医療社会事業従事者	11
准看護師	0	3	1.1	栄養士	0	その他の技術員	25
歯科衛生士	6	0	6	歯科技工士	2	事務職員	260
管理栄養士	9	0	9	診療放射線技師	52	その他の職員	20

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	65	眼科専門医	14
外科専門医	58	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	11	放射線科専門医	4
小児科専門医	27	脳神経外科専門医	10
皮膚科専門医	10	整形外科専門医	19
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	22
産婦人科専門医	14	救急科専門医	10
		合計	285

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 池内 浩基 ) 任命年月日 2024 年 4 月 1 日

(2022.4.1-2024.3.31)  
 医療安全担当副院長  
 医療安全管理責任者  
 医療安全審議委員長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	734.4 人	9.3 人	743.7 人
1日当たり平均外来患者数	2317.6 人	82.1 人	2399.7 人
1日当たり平均調剤数		1279	剤
必要医師数		152.6	人
必要歯科医師数		5.27	人
必要薬剤師数		25	人
必要(准)看護師数		379	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	450.4 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(RC)	病床数	20 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 339.44 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 0 台		病床数	22 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 41.95 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	159.5 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(SRC)	(主な設備)	生化学・免疫統合型分析装置cobas8000<c702>, cobas8000<e801> 免疫分析ARCHITECTi1000SR,全自動糖分析装置GA09, 東ソー自動グリコヘモグロビン分析計HLC-723G11		
細菌検査室	145.9 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(SRC)	(主な設備)	マイクロスキャンWalkAway96、バクテックFX バクテックMGIT、GENECUBE、MALDI/バイオタイパー、GeneXpert		
病理検査室	208.9 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(SRC)	(主な設備)	クリオスタット、連続迅速自動固定包埋装置、 HE自動染色装置、自動免疫染色装置		
病理解剖室	110.7 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(SRC)	(主な設備)	解剖台		
研究室	17125 m <sup>2</sup>	鉄骨造(S)	(主な設備)	CO2インキュベーター、オートクレーブ、 オールインワン蛍光顕微鏡、 リアルタイムPCRシステム		
講義室	2006.6 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(RC)鉄骨造(S)	室数	15 室	収容定員	1481 人
図書室	1128 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート(RC)	室数	1 室	蔵書数	38,514 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	100.7	%	逆紹介率	76.4	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		24,654		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		19,810		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,471		人
	D: 初診の患者の数		25,935		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
宮崎 浩彰	関西医科大学医療安全管理センター副センター長	○	医療に係る安全管理に関する見解を有する者	無	1
亀井 尚也	かけはし法律事務所(弁護士)		法律に関する見解を有する者	無	1
辰馬 勝	関西学院同窓会顧問		医療を受ける者の立場から意見を述べることができる者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
兵庫医科大学病院のホームページにて記載	





## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	骨軟部腫瘍に対する経皮的凍結治療	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 他の治療法が有効でなかった骨軟部腫瘍の患者に対し経皮的凍結治療を施行する。治療領域が確認できることで、神経損傷を回避しやすくなり、手技中の疼痛も少ないという利点がある。さらに、良好な除痛効果や腫瘍縮小効果が期待できる治療法である。			
医療技術名	経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)	取扱患者数	36
当該医療技術の概要 カテーテルを用いて大動脈弁を人工弁に置き換える治療法。従来の開胸大動脈弁置換術よりも低侵襲であり、手術が困難と判断された高齢者でも可能な大動脈弁狭窄症の治療法である。			
医療技術名	腹腔鏡下胃切除術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	21
当該医療技術の概要 体への負担が少なく、より正確で安全性の高い操作が可能な手術支援ロボットによる低侵襲な胃癌の手術。			
医療技術名	腹腔鏡下直腸切除・切断術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 手術支援ロボットにより、従来の腹腔鏡よりも緻密な手術が可能になり、機能温存が重要な直腸がんの手術に有用な治療法である。			
医療技術名	アミロイドPET	取扱患者数	117
当該医療技術の概要 アルツハイマー型認知症のリスクを評価する最先端の検査です。アルツハイマー病の原因である脳のアミロイドβに集積する物質を注射し、脳内にどのくらい蓄積するかを調べます。			
医療技術名	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	22
当該医療技術の概要 縦隔腫瘍に対して手術支援ロボットにより低侵襲かつ安全にアプローチ可能となる治療法である。			
医療技術名	胸腔鏡下良性・悪性縦隔腫瘍手術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	22
当該医療技術の概要 縦隔腫瘍に対して手術支援ロボットにより低侵襲かつ安全にアプローチ可能となる治療法である。			
医療技術名	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 重症筋無力症の治療において手術支援ロボットを使用することで低侵襲で安全に施行可能な治療法である。			
医療技術名	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(ロボット支援下手術)	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 咽頭がんや喉頭がんの治療において手術支援ロボットを使用することで低侵襲で安全に施行可能な治療法である。			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	9
取り扱い患者数の合計(人)	257

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	1	56	ベーチェット病	31
2	筋萎縮性側索硬化症	18	57	特発性拡張型心筋症	6
3	脊髄性筋萎縮症	3	58	肥大型心筋症	14
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	6	60	再生不良性貧血	32
6	パーキンソン病	143	61	自己免疫性溶血性貧血	13
7	大脳皮質基底核変性症	5	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	26
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	3
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	4
11	重症筋無力症	72	66	IgA 腎症	33
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	0
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	35	68	黄色靱帯骨化症	1
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	25	69	後縦靱帯骨化症	34
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クローウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	20
17	多系統萎縮症	14	72	下垂体性ADH分泌異常症	0
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	18	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	0
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	12
21	ミトコンドリア病	6	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	22	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	4
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	27
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	6	83	アジソン病	4
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	27
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	36
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	20
32	自己食気空腔性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	4
34	神経線維腫症	2	89	リンパ管筋腫症	4
35	天疱瘡	5	90	網膜色素変性症	24
36	表皮水疱症	0	91	バンド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	2	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	ステイーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性胆管炎	24
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	8
40	高安動脈炎	14	95	自己免疫性肝炎	31
41	巨細胞性動脈炎	18	96	クローン病	306
42	結節性多発動脈炎	2	97	潰瘍性大腸炎	402
43	顕微鏡的多発血管炎	30	98	好酸球性消化管疾患	6
44	多発血管炎性肉芽腫症	23	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	20	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	3	101	腸管神経節細胞減少症	1
47	パージャール病	6	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	105	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	65	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	39	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	6	107	若年性特発性関節炎	2
53	シェーグレン症候群	102	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人発症スチル病	4	109	非典型性溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	4	110	ブラウ症候群	1
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	29
113	筋ジストロフィー	4	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
117	脊髄空洞症	6	167	マルファン症候群/ロイス・ディーツ症候群	0
118	脊髄髄膜瘤	5	168	エーラス・ダンロス症候群	2
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	脳内鉄沈着神経変性症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	1
123	HTRA1関連脳小血管病	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー病	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	総耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	2	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	3	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	1
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	397	199	5p欠失症候群	1
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	1
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	5	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	1
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	1
	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レンチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	2	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	12
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	9	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	7
222	一次性ネフローゼ症候群	3	270	慢性再発性多発性骨髄炎	2
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	7
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿管症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	2
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	6	275	タナトフォリック骨異形成症	2
228	閉塞性細気管支炎	3	276	軟骨無形成症	2

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277 リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230 肺胞低換気症候群	0	278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231 $\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232 カーニー複合	0	280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233 ウォルフラム症候群	0	281 クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	5
234 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282 先天性赤血球形形成異常性貧血	1
235 副甲状腺機能低下症	26	283 後天性赤芽球癆	0
236 偽性副甲状腺機能低下症	1	284 ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285 ファンコニ貧血	0
238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286 遺伝性鉄芽球性貧血	0
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287 エプスタイン症候群	0
240 フェニルケトン尿症	0	288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	0
241 高チロシン血症1型	0	289 クロンカイト・カナダ症候群	2
242 高チロシン血症2型	0	290 非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243 高チロシン血症3型	0	291 ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	7
244 メーブルシロップ尿症	0	292 総排泄腔外反症	0
245 プロピオン酸血症	1	293 総排泄腔遺残	2
246 メチルマロン酸血症	1	294 先天性横隔膜ヘルニア	0
247 イソ吉草酸血症	0	295 乳幼児肝巨大血管腫	0
248 グルコーストランスポーター1欠損症	0	296 胆道閉鎖症	0
249 グルタル酸血症1型	0	297 アラジール症候群	0
250 グルタル酸血症2型	0	298 遺伝性腭炎	0
251 尿素サイクル異常症	1	299 嚢胞性線維症	0
252 リジン尿性蛋白不耐症	0	300 IgG4関連疾患	20
253 先天性葉酸吸収不全	0	301 黄斑ジストロフィー	7
254 ポルフィリン症	0	302 レーベル遺伝性視神経症	3
255 複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303 アッシュャー症候群	0
256 筋型糖原病	0	304 若年発症型両側性感音難聴	0
257 肝型糖原病	0	305 遅発性内リンパ水腫	2
258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306 好酸球性副鼻腔炎	81
疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病	0	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
308 進行性白質脳症	0	322 $\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
309 進行性ミオクローヌステんかん	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310 先天異常症候群	2	324 メチルグルタコン酸尿症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	325 遺伝性自己炎症疾患	1
312 先天性僧帽弁狭窄症	0	326 大理石骨病	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
314 左肺動脈右肺動脈起始症	1	328 前眼部形成異常	0
315 ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0	329 無虹彩症	0
316 カルニチン回路異常症	0	330 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	3
317 三頭酵素欠損症	1	331 特発性多中心性キャスルマン病	1
318 シトリン欠損症	0	332 膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319 セビアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333 ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	334 脳クレアチン欠乏症候群	0
		335 ネフロン癆	0
		336 家族性低 $\beta$ リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
		337 ホモシスチン尿症	0
		338 進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
		339 MECP2重複症候群	0
		340 線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	0
		341 TRPV4異常症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	129
合計患者数(人)	2,701

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
情報通信機器を用いた診療に係る基準	感染対策向上加算1、指導強化加算
地域歯科診療支援病院歯科初診料	患者サポート体制充実加算
歯科外来診療医療安全対策加算2	重症患者初期支援充実加算
歯科外来診療感染対策加算4	報告書管理体制加算
歯科診療特別対応連携加算	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
医療DX推進体制整備加算	ハイリスク妊娠管理加算
特定機能病院入院基本料	ハイリスク分娩管理加算
救急医療管理加算	呼吸ケアチーム加算
超急性期脳卒中加算	術後疼痛管理チーム加算
診療録管理体制加算1	後発医薬品使用体制加算2
医師事務作業補助体制加算1 15対1	バイオ後続品使用体制加算
急性期看護補助体制加算(25対1看護補助者5割以上)	病棟薬剤業務実施加算1
夜間100対1急性期看護補助体制加算	病棟薬剤業務実施加算2
急性期看護補助体制加算の注3に掲げる夜間看護体制加算	データ提出加算2
急性期看護補助体制加算の注4に掲げる看護補助者体制充実加算1	入退院支援加算1
看護職員夜間配置加算 看護職員夜間12対1配置加算1	入退院支援加算の注4に規定する地域連携診療計画加算
看護補助加算2	入退院支援加算の注7に規定する入院時支援加算
看護補助加算2の注4に掲げる看護補助体制充実加算1	認知症ケア加算1
無菌治療室管理加算1	せん妄ハイリスク患者ケア加算
無菌治療室管理加算2	精神疾患診療体制加算
緩和ケア診療加算	排尿自立支援加算
精神病棟入院時医学管理加算	地域医療体制確保加算
精神科身体合併症管理加算	救命救急入院料1
精神科リエゾンチーム加算	救命救急入院料の注1に掲げる算定上限日数基準
摂食障害入院医療管理加算	救命救急入院料の注2に掲げる精神疾患診断治療初回加算
栄養サポートチーム加算	救命救急入院料の注8に掲げる早期離床・リハビリテーション加算
医療安全対策加算1	特定集中治療室管理料1



(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
ウイルス疾患指導料の注2に規定する加算	ハイリスク妊産婦連携指導料2
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	がん治療連携計画策定料
糖尿病合併症管理料	肝炎インターフェロン治療計画料
がん性疼痛緩和指導管理料	外来排尿自立指導料
がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算	こころの連携指導料Ⅱ
がん患者指導管理料イ	薬剤管理指導料
がん患者指導管理料ロ	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
がん患者指導管理料ハ	医療機器安全管理料1
がん患者指導管理料ニ	医療機器安全管理料2
外来緩和ケア管理料	精神科退院時共同指導料2
移植後患者指導管理料(臓器移植後)	救急患者連携搬送料
移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	在宅酸素療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
糖尿病透析予防指導管理料	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
外来放射線照射診療料	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
乳腺炎重症化予防ケア	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
婦人科特定疾患治療管理料	持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定
腎代替療法指導管理料	口腔細菌定量検査
一般不妊治療管理料	遺伝学的検査
生殖補助医療管理料1	染色体検査の注2に規定する絨毛染色体検査
二次性骨折予防継続管理料1	骨髄微小残存病変量測定
二次性骨折予防継続管理料3	BRCA1/2遺伝子検査
下肢創傷処置管理料	がんゲノムプロファイリング検査
慢性腎臓病透析予防指導管理料	角膜ジストロフィー遺伝子検査
外来腫瘍化学療法診療料1、連携充実加算	先天性代謝異常症検査
療養・就労両立支援指導料の注2に掲げる相談支援加算	咀嚼能力検査
開放型病院共同指導料	感染症免疫学的検査 抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
ハイリスク妊産婦連携指導料1	精密触覚機能検査

抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	心臓MRI撮影加算
微生物核酸同定・定量検査 HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	乳房MRI撮影加算
微生物核酸同定・定量検査 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	頭部MRI撮影加算
検体検査管理加算(IV)	全身MRI撮影加算
国際標準検査管理加算	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
遺伝カウンセリング加算	連携充実加算
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	外来化学療法加算1
心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	無菌製剤処理料
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
胎児心エコー法	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
ヘッドアップティルト試験	歯科口腔リハビリテーション料2
長期継続頭蓋内脳波検査	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
脳波検査判断料1	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
神経学的検査	摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
補聴器適合検査	がん患者リハビリテーション料
黄斑局所網膜電図,全視野精密網膜電図	通院・在宅精神療法の注8に掲げる療養生活継続支援加算
ロービジョン検査判断料	認知療法・認知行動療法1
コンタクトレンズ検査料1	精神科作業療法
小児食物アレルギー負荷検査	抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る)
内服・点滴誘発試験	医療保護入院等診療料
経頸静脈的肝生検	口腔粘膜処置
経気管支凍結生検法	静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)
画像診断管理加算4	多血小板血漿処置
ポジトロン断層撮影	歯根端切除手術
ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	手術用顕微鏡加算
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	硬膜外自家血注入
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)	人工腎臓
CT撮影及びMRI撮影	導入期加算3及び腎代替療法実績加算
冠動脈CT撮影加算	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
外傷全身CT加算	血漿交換療法 難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
血流予備量比コンピューター断層撮影	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法

ストーマ合併症加算	網膜再建術
歯周組織再生誘導手術	植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術
手術時歯根面レーザー応用加算	耳管用補綴材挿入術
顎関節人工関節全置換術(歯科)	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	人工中耳植込術
レーザー機器加算	人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
皮膚悪性腫瘍切除術(皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算を算定する場合)	内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
処理骨再建加算	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植)(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。))	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
椎間板内酵素注入療法	乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
腫瘍脊椎骨全摘術	乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
緊急穿頭血腫除去術	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
内視鏡下脳腫瘍生検術	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
内視鏡下脳腫瘍摘出術	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	気管支バルブ留置術
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
角結膜悪性腫瘍切除術	肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
角膜移植術(内皮移植加算)	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除及び肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
羊膜移植術	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
緑内障手術(流出路再建術(眼内法))	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	長直縫合術(芽刺、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
毛様体光凝固術(眼内内視鏡を用いるものに限る。)	胸腔鏡下弁形成術
網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	経カテーテル大動脈弁置換術

胸腔鏡下弁置換術	腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的僧帽弁クリップ術	腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く。)
不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的中隔心筋焼灼術	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	内視鏡的小腸ポリープ切除術
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	腹腔鏡下腎盂形成術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	同種死体腎移植術
補助人工心臓	生体腎移植術
経皮的下肢動脈形成術	膀胱水圧拡張術
腹腔鏡下リンパ節郭清術(後腹膜)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
腹腔鏡下リンパ節郭清術(傍大動脈)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	尿道狭窄グラフト再建術
骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	人工尿道括約筋植込・置換術
内視鏡的逆流防止粘膜切除術	膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)
腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	埋没陰茎手術
腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	精巣温存手術
腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)	精巣内精子採取術
腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	女子外性器悪性腫瘍手術 センチネルリンパ節生検加算
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	腹腔鏡下仙骨腔固定術
胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
腹腔鏡下肝切除術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
生体部分肝移植術	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡用支援機器を用いる場合)
腹腔鏡下膵腫瘍摘出術	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術

腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	デジタル病理画像による病理診断
子宮附属器腫瘍摘出術(遺伝性乳癌卵巣癌疾患症候群患者に限る。)	乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌疾患症候群患者に限る。)
体外式膜型人工肺管理料	病理診断管理加算2
輸血管理料 I	悪性腫瘍病理組織標本加算
コーディネート体制充実加算	口腔病理診断管理加算2
自己生体組織接着剤作成術	看護職員処遇改善評価料
自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)
同種クリオプレシピテート作成術	入院ベースアップ評価料
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	
麻酔管理料(I)	
麻酔管理料(II)	
麻酔管理料の注に掲げる周術期薬剤管理加算	
放射線治療専任加算	
外来放射線治療加算	
クラウン・ブリッジ維持管理料	
高エネルギー放射線治療	
一回線量増加加算	
強度変調放射線治療(IMRT)	
画像誘導放射線治療(IGRT)	
体外照射呼吸性移動対策加算	
う蝕歯無痛的窩洞形成加算	
定位放射線治療	
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	
歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	
歯科技工士連携加算2	
光学印象	
画像誘導密封小線源治療加算	
CAD/CAMインレー	
保健医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	
保健医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	
保険医療機関間の連携による病理診断	



(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳癌における脂質メディエーターを標的とする薬物送達システムを用いた新規治療の開発	永橋 昌幸	乳腺・内分泌外科	3,380,000	補 日本学術振興会
コンピュータビジョンを用いた外科医の意思決定支援システムの実用化に向けた開発研究	篠原 尚	上部消化管外科	5,330,000	補 日本学術振興会
診療環境及び診療科の特性と薬剤性有害事象、薬剤関連エラーの発生リスクに関する研究	森本 剛	臨床研究支援センター	3,770,000	補 日本学術振興会
妊娠の成立と維持に関する免疫担当細胞の関与の解明と新規治療の開発	福井 淳史	産科婦人科	1,040,000	補 日本学術振興会
トランスフェリン受容体1を介した血管病変形成機序の解明と治療法の開発	内藤 由朗	循環器内科	1,430,000	補 日本学術振興会
PETによる免疫チェックポイント阻害剤治療の効果判定と予測:多施設前向き臨床試験	北島 一宏	放射線医療センター	1,170,000	補 日本学術振興会
汎発性膿疱性乾癬続発性有棘細胞癌に共通な新規IL36RN遺伝子変異の役割の解明	金澤 伸雄	皮膚科	1,300,000	補 日本学術振興会
進行再発乳癌におけるエブリン治療効果予測バイオマーカー探索と新たな治療開発	三好 康雄	乳腺・内分泌外科	1,170,000	補 日本学術振興会
末梢血を用いた免疫チェックポイント阻害剤効果予測法の開発	中村 晃史	呼吸器外科	390,000	補 日本学術振興会
細胞間質ゲル構造に注目したヒドロキシエチルデンプンによる手術侵襲時の炎症制御	多田 羅 恒雄	手術センター	390,000	補 日本学術振興会
全身麻酔における侵害受容モニターの開発とその有用性の検討	廣瀬 宗孝	麻酔科・疼痛制御科	1,040,000	補 日本学術振興会
ウイルス性敗血症を中心とした水素のNETs抑制効果検討	小濱 圭祐	救急科	780,000	補 日本学術振興会
ヒト臍帯血由来血管血球系幹細胞を用いた脳梗塞後遺症に対する細胞治療研究	山原 研一	輸血・細胞治療センター	1,300,000	補 日本学術振興会
脳出血に対する臍帯由来間葉系幹細胞を用いた新規治療方法開発とその作用機序の解明	吉村 紳一	脳神経外科	910,000	補 日本学術振興会
中心性漿液性脈絡網膜症の病期別視機能異常の検証と評価法の構築	五味 文	眼科	1,040,000	補 日本学術振興会
口腔癌のpartial-EMTを介した浸潤・転移に関わるバイオマーカーの探索	野口 一馬	歯科口腔外科	1,300,000	補 日本学術振興会
口腔扁平上皮癌の浸潤・転移におけるLICAM発現の解析およびその影響	吉川 恭平	歯科口腔外科	1,560,000	補 日本学術振興会
CBR matrixを用いた慢性循環器疾患患者の社会的処方支援アプリの開発	高橋 敬子	循環器内科	1,950,000	補 日本学術振興会
睡眠の「質」の低下による代謝、認知領域への影響に関する基礎的検討	角谷 学	糖尿病・内分泌・代謝内科	520,000	補 日本学術振興会
COVID-19におけるawake proningの有効性と胸部画像重症度の関連	竹田 倫世	リハビリテーション科	780,000	補 日本学術振興会
赤ワインによるTRPチャネルを介した血小板機能抑制の新しい分子メカニズム	丸茂 幹雄	血液内科	1,170,000	補 日本学術振興会
MDS阻害治療の新規標的としてのLOX-1の意義と子宮頸がん治療への応用	馬淵 誠士	産科婦人科	1,170,000	補 日本学術振興会
糖質コルチコイド処理による未分化メモリーCAR-T細胞の誘導と抗腫瘍効果の向上	井上 貴之	血液内科	2,210,000	補 日本学術振興会
インフラマソームを中心とした末梢炎症がうつ病を引き起こす機序解明と治療戦略の模索	山西 恭輔	精神科神経科	1,560,000	補 日本学術振興会
ラジオ波凝固範囲の拡大に寄与する金属ナノ粒子送達システムの開発	加古 泰一	放射線科	1,430,000	補 日本学術振興会
ラジオ波凝固治療を軸にしたガン複合免疫療法の開発	高木 治行	放射線科	1,430,000	補 日本学術振興会
循環血中セルフリーRNAをバイオマーカーとした筋ジストロフィー治療評価系の検証	竹島 泰弘	小児科	1,560,000	補 日本学術振興会
小児腎悪性腫瘍の治療層別化に有効なバイオマーカーを同定するための多施設共同研究	大植 孝治	小児外科	910,000	補 日本学術振興会
炎症性腸疾患新規マーカーLRGによる糖鎖を介した腸炎制御機構の解明	新崎 信一郎	消化管内科	1,820,000	補 日本学術振興会

計 29

大動脈瘤の拡大におけるクローン性造血の役割	関 庚徳	循環器内科	2,470,000	補	日本学術振興会
自然免疫の活性化により小細胞肺癌の抗癌剤耐性克服を目指す新たな治療戦略の確立	南 俊行	呼吸器内科	1,690,000	補	日本学術振興会
睡眠の「質」低下は心・代謝連関にどのようなメカニズムで影響するのか？	小山 英則	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,430,000	補	日本学術振興会
外科臨床実習の効率化をもちあすAI支援システムの開発	石田 善敬	上部消化管外科	1,950,000	補	日本学術振興会
GLP-2により誘導されるIGF-1は腸管不全モデルにおける肝機能障害を改善させるか？	田附 裕子	小児外科	1,300,000	補	日本学術振興会
尿中インドキシル硫酸の炎症性腸疾患領域における新規バイオマーカーとしての可能性	池内 浩基	炎症性腸疾患外科	520,000	補	日本学術振興会
ポリエチレングリコールからなるハイドロゲルを用いた気道系の損傷修復の新規開発	近藤 展行	呼吸器外科	910,000	補	日本学術振興会
ビグアナイド、SGLT2阻害薬と手術侵襲で起こるアシドーシスの臨床基礎面からの検討	植木 隆介	麻酔科・疼痛制御科	1,300,000	補	日本学術振興会
瞳孔による客観的な疼痛評価法の確立	佐藤 史弥	麻酔科・疼痛制御科	1,170,000	補	日本学術振興会
女性ホルモン類似物質はCOVID-19肺炎の重症化を抑制できるか	村上 博基	救急科	1,820,000	補	日本学術振興会
めまいを伴う耳管開放症の病態解明	大田 重人	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	910,000	補	日本学術振興会
創傷治癒過程におけるエクソソームの基礎研究	河合 建一郎	形成外科	1,560,000	補	日本学術振興会
CAR-T細胞療法後の遅延性血球減少の臨床病理学的全貌の解明:治療最適化を目指して	松田 育雄	病理診断科	1,170,000	補	日本学術振興会
小腸GISTを標的とした薬剤抱合型抗CADM1抗体の抗腫瘍効果	廣田 誠一	病理診断科	2,340,000	補	日本学術振興会
白血病の酸化ストレス機構を制御する因子の探索とユニバーサルな分子標的療法の開発	玉置 広哉	血液内科	2,080,000	補	日本学術振興会
キメラ抗原受容体T細胞療法における標的抗原以外に対する免疫応答の意義	吉原 哲	血液内科	1,430,000	補	日本学術振興会
生体内リプログラミングにより誘導される液性因子を介した老化制御法の確立	庄嶋 健作	総合内科	1,950,000	補	日本学術振興会
シングル核RNA-seqとMRI拡散強調画像による筋強直性ジストロフィー脳病態解明	木村 卓	脳神経内科	3,640,000	補	日本学術振興会
神経発達症の併存による強迫症の遺伝免疫学的特性と難治化メカニズムの解明	松永 寿人	精神科神経科	1,690,000	補	日本学術振興会
重症遷延神経性やせ症の疫学、臨床像および予後の調査研究と最適化された治療法の開発	山田 恒	精神科神経科	1,170,000	補	日本学術振興会
血中スプライシングアイソフォームを用いた筋ジストロフィー骨格筋外症状評価系の検証	下村 英毅	小児科	1,040,000	補	日本学術振興会
免疫老化に関連した非アルコール性肝障害の分子病態解明と新規治療法の確立	奥野 美佐子	小児科	1,560,000	補	日本学術振興会
アンチセンス核酸による筋ジストロフィーナンセンス変異リードスルー治療効率化の検証	李 知子	小児科	1,690,000	補	日本学術振興会
肝癌由来増殖因子を標的とした核酸医薬品の構造最適化:肝細胞癌の新規治療薬の創出	榎本 平之	肝・胆・膵内科	1,690,000	補	日本学術振興会
腸内環境と消化管粘膜バリア機能における Reg ファミリー蛋白に関する研究	福井 広一	消化管内科	1,820,000	補	日本学術振興会
中学生ピロリ菌検診の検証:検査の精度と除菌治療後フロー体制の確立に向けて	奥田 真珠美	小児科	2,210,000	補	日本学術振興会
非ホジキンリンパ腫患者のキメラ抗原受容体T細胞療法前後における心機能の経時的変化	大星 真貴子	超音波センター	2,340,000	補	日本学術振興会
乳癌患者由来オルガノイド・動物モデルの臨床的有用性の検証と新規治療開発への応用	樋口 智子	乳腺・内分泌外科	1,560,000	補	日本学術振興会
乳癌における腫瘍浸潤リンパ球の分子病理学的解析と腫瘍免疫微小環境予測モデルの構築	金岡 遥	乳腺・内分泌外科	1,560,000	補	日本学術振興会
一酸化窒素系の役割に着目した尿道形成手術についての研究	兼松 明弘	泌尿器科	910,000	補	日本学術振興会
重症尿路感染症における全自動尿中有形成成分分析装置による抗菌薬治療効果の早期判定	山本 新吾	泌尿器科	1,560,000	補	日本学術振興会
TRP受容体活性化による嗅覚シナプス伝達維持・回復機構の解明	都築 建三	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,340,000	補	日本学術振興会

顔面骨骨折の診断補助システムの開発	西本 聡	形成外科	1,690,000	補	日本学術振興会
薬剤関連顎骨壊死発症におけるT細胞機能不全の解析と新規治療の探索	上田 美帆	歯科口腔外科	1,690,000	補	日本学術振興会
膀胱個別化治療に向けた造影超音波内視鏡を用いた抗がん剤感受性予測モデルの開発	塩見 英之	肝・胆・膵内科	1,560,000	補	日本学術振興会
OSNA法による大腸癌リンパ節転移進展形式の同定	片岡 幸三	下部消化管外科	520,000	補	日本学術振興会
CD276 発現 M2マクロファージを標的とした転移性脳腫瘍の発症制御	阪本 大輔	脳神経外科	910,000	補	日本学術振興会
血液メタボローム解析を用いた、IPMNの膵癌予測バイオマーカーの確立	中野 遼太	肝・胆・膵内科	1,170,000	補	日本学術振興会
オミクス解析による慢性心不全患者の骨髄造血障害のメカニズムの検討	真鍋 恵理	循環器内科	1,690,000	補	日本学術振興会
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症におけるcfDNAの好酸球からの放出と炎症への関与	橋本 哲平	アレルギー・リウマチ内科	260,000	補	日本学術振興会
頸椎後縦靭帯骨化症の病態機序を考慮した創薬ターゲット探索研究	立林 洗太郎	脳神経外科	780,000	補	日本学術振興会
胎児付属器間葉系幹細胞を用いたくも膜下出血後神経損傷並び脳血管攣縮の治療法開発	白川 学	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会
変形性膝関節症に対する間葉系幹細胞治療の除痛メカニズムの解明	井石 智也	整形外科	1,300,000	補	日本学術振興会
脱細胞化ヒト卵巣組織による人工卵巣の開発	脇本 裕	産科婦人科	780,000	補	日本学術振興会
上肢リハビリテーション支援ロボットのアシスト量の定量化と課題難易度の関連性の解明	内山 侑紀	リハビリテーション科	650,000	補	日本学術振興会
胃切除後症候群に対する客観的治療指標(残存運動機能分類)の開発	中村 達郎	上部消化管外科	1,170,000	補	日本学術振興会
悪性胸膜中皮腫におけるアンチエイジング遺伝子Klotho発現の解析と臨床応用	竹ヶ原 京志郎	呼吸器外科	1,430,000	補	日本学術振興会
臍帯由来間葉系幹細胞を用いた脊髄損傷への経静脈的な新規治療法の開発	陰山 博人	脳神経外科	1,690,000	補	日本学術振興会
CD276 発現マクロファージを標的とした新規脳梗塞ペナンプラ保護療法の検討	内田 和孝	脳卒中センター	1,950,000	補	日本学術振興会
ヒト脳出血から誘導される幹細胞を用いた神経再生治療の研究	蔵本 要二	脳神経外科	1,560,000	補	日本学術振興会
小腸GISTに特異的に発現するコネキシン43と転移・再発との関連性について	木原 多佳子	病理診断科	1,170,000	補	日本学術振興会
視線解析を用いたチック関連強迫症の視覚運動協調性の特性評価	向井 馨一郎	精神科神経科	4,160,000	補	日本学術振興会
心拡張機能とエネルギー代謝との関連における「睡眠の質」の影響	木俣 米一	糖尿病・内分泌・代謝内科	1,300,000	補	日本学術振興会
回腸囊炎の便の画像解析を用いた疾患活動性の非侵襲的バイオマーカーの確立	堀尾 勇規	炎症性腸疾患外科	1,690,000	補	日本学術振興会
中耳真珠腫術後の鼓索神経傷害に対する神経再生誘導療法の有用性	西村 理宇	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,040,000	補	日本学術振興会
AIによるインプラント体埋入術前シミュレーション診断・ガイド自動設計システムの開発	徳本 佳奈	歯科口腔外科	2,340,000	補	日本学術振興会
破骨前駆細胞のメカノセンサーとしての一次繊毛の役割	服部 洋一	歯科口腔外科	2,340,000	補	日本学術振興会
フレイル状態変化に基づくヒト老化制御因子としてのエクソソームmicroRNA探索	新村 健	総合内科	1,040,000	補	日本学術振興会
大腸がんの転移に寄与する腫瘍代謝メカニズムの解明	大島 健司	病理診断科	1,430,000	補	日本学術振興会
アデノ随伴ウイルス(AAV)を用いた生体内短期間リプログラミングの確立	庄嶋 健作	総合内科	1,430,000	補	日本学術振興会
HIV感染血友病患者の救急対応の課題解決のための研究	日笠 聡	輸血・細胞治療センター	10,660,000	補	厚生労働省
臨床研究者による活用を目指した臨床研究技能と研究公正の統合学修の実用化	森本 剛	臨床研究支援センター	11,700,000	委	日本医療研究開発機構
Injectable cell scaffold (ICS-001)を用いた革新的血管新生療法の開発	山原 研一	輸血・細胞治療センター	104,000,000	委	日本医療研究開発機構
強迫症を対象とした新規認知行動療法アプリ開発	向井 馨一郎	精神科神経科	26,000,000	委	日本医療研究開発機構

計 32

- (注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

合計93

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 2 論文発表等の実績

## (1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭者名の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	YoshimuraAyano, HosotaniYuka, MasudaNahomi 他	眼科	Characteristics of dry eye associated with autoimmune diseases	JAPANESE JOURNAL OF OPHTHALMOLOGY. 69: 188:- 195: MAR: 2025	Article
2	FukuyamaHisashi, MikamiKazuma, OkitaYoichi 他	眼科	New Tablet-Based Written Examination System for Metamorphopsia Quantification	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE. 14: MAR 8: 2025	Article
3	KadoyaManabu, KoyamaHidenori	糖尿病・内分泌・代謝内科	Associations of sleep disorders and autonomic dysfunction with cardio-renal function	SLEEP AND BREATHING. 29:MAR: 2025	Case report
4	MiyakeMitsutomi, KuribayashiKojo, DoiHiroshi 他	呼吸器内科	Clinical Significance of Bone Metastases in Pleural Mesothelioma	THORACIC CANCER. 16:MAR: 2025	Case report
5	TakeshimaYasuhiro	小児科	Expansion of Splice-Switching Therapy with Antisense Oligonucleotides	INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR SCIENCES. 26:MAR: 2025	Case report
6	NishimuraTakashi, TadaToshifumi, AkitaTomoyuki 他	超音波センター	Diagnostic performance of attenuation imaging versus controlled attenuation parameter for hepatic steatosis with MRI-based proton density fat fraction as the reference standard: a prospective multicenter study	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY. 2025 FEB 24: 2025	Article
7	TokunagaSachi, ShimomuraHideki, HoribeTakuya 他	小児科	Experience of nusinersen treatment in advanced spinal muscular atrophy type 1: Characteristics of late responders with delayed treatment efficacy	EUROPEAN JOURNAL OF PAEDIATRIC NEUROLOGY. 54: 171:- 177: JAN: 2025	Review
8	MukaiKeiichiro, YamanishiKiyosuke, HosoiYukihiko 他	精神科神経科	Clinical characteristics and treatment response of a possible self-contamination subtype of obsessive-compulsive disorder: a prospective investigation	BMC PSYCHIATRY. 25:FEB 13: 2025	Case report
9	MotoyamaMikun, YamadaHisashi, MaebayashiKensei 他	精神科神経科	IMMUNOLOGICAL GLUTEN SENSITIVITY IN PATIENTS WITH MAJOR DEPRESSIVE DISORDER	INTERNATIONAL JOURNAL OF NEUROPSYCHOPHARMACOLOGY. 28: i190:- i190: FEB 12: 2025	Article
10	MukaiKeiichiro, HosoiYukihiko, OginoShun 他	精神科神経科	PHARMACOLOGICAL EFFECTS OF PAROXETINE ON HEMODYNAMIC CHANGES MEASURED BY NEAR INFRARED SPECTROSCOPY IN PATIENTS WITH OBSESSIVE-COMPULSIVE DISORDER	INTERNATIONAL JOURNAL OF NEUROPSYCHOPHARMACOLOGY. 28: i336:- i337: FEB 12: 2025	Article
11	OginoShun, MukaiKeiichiro, MiyauchiMasahiro 他	精神科神経科	A PRELIMINARY EXAMINATION ON TREATMENT EFFECTIVENESS OF AUGMENTATION WITH ATTENTION DEFICIT HYPERACTIVITY DISORDER (ADHD) AGENTS IN PATIENTS WITH OBSESSIVE-COMPULSIVE DISORDER AND COMORBID ADHD	INTERNATIONAL JOURNAL OF NEUROPSYCHOPHARMACOLOGY. 28: i339:- i340: FEB 12: 2025	Article
12	SakuraiMasahiko, YamanishiKiyosuke, HataMasaki 他	精神科神経科	EXPLORING IMMUNOLOGICAL AND MOLECULAR MECHANISMS INVOLVED IN OBSESSIVE-COMPULSIVE DISORDER WITH COMORBID NEURODEVELOPMENTAL DISORDERS	INTERNATIONAL JOURNAL OF NEUROPSYCHOPHARMACOLOGY. 28: i335:- i335: FEB 12: 2025	Article
13	YamadaHisashi, MikuniMotoyama, YoshimuraChiho 他	精神科神経科	IMMUNOLOGICAL GLUTEN SENSITIVITY IN UNDERWEIGHT PATIENTS WITH EATING DISORDER	INTERNATIONAL JOURNAL OF NEUROPSYCHOPHARMACOLOGY. 28: i235:- i236: FEB 12: 2025	Article
14	YokozumiErisa, MukaiKeiichiro, OginoShun 他	精神科神経科	A SIGNIFICANT EFFECT OF INVOLVEMENT BEHAVIORS ON LONG-TERM TREATMENT OUTCOMES IN JAPANESE PATIENTS WITH OBSESSIVE COMPULSIVE DISORDER (OCD)	INTERNATIONAL JOURNAL OF NEUROPSYCHOPHARMACOLOGY. 28: i339:- i339: FEB 12: 2025	Article
15	NagahashiMasayuki, KumamaruHiraku, KinukawaNaoko 他	乳腺・内分泌外科	Breast cancer statistics for Japan in 2022: annual report of the national clinical database-breast cancer registry-clinical implications including chemosensitivity of breast cancer with low estrogen receptor expression	BREAST CANCER. 32: 217:- 226: MAR: 2025	Article
16	ItoKazuma, TakahashiKanae, KataokaKojo 他	下部消化管外科	Optimal cut-off value for lymph node harvesting in colon cancer based on tumor stage and sidedness: A retrospective analysis of a Japanese nationwide cohort	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY. 43: 149:- 149: FEB: 2025	Case report
17	KataokaKojo, MauerMurielle E, ShiozawaManabu 他	下部消化管外科	EORTC1527/JCOG1609INT/ESS002: Diffusion-weighted magnetic resonance imaging (DW-MRI) assessment of initially unresectable liver metastasis to improve surgical planning (DREAM)-Primary analysis.	JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY. 43: FEB: 2025	Case report
18	MiyamotoShoto, FukuyamaHisashi, ArakiTakashi 他	眼科	SUB-INTERNAL LIMITING MEMBRANE FOVEAL HEMORRHAGE UNDER TENSION	RETINA-THE JOURNAL OF RETINAL AND VITREOUS DISEASES. 45: 231:- 237: FEB: 2025	Article
19	MurakamiMotoki, NakamuraTatsuro, ShinoharaHisashi 他	乳腺・内分泌外科	Dual automated segmentation of nerves and loose connective tissue with artificial intelligence during suprapancreatic lymph node dissection in robotic gastrectomy	JOURNAL OF GASTROINTESTINAL SURGERY. 29:MAR: 2025	Case report
20	OshiroAoi, NagahashiMasayuki, TogashiYusa 他	乳腺・内分泌外科	Clinical Utility of Sentinel Lymph Node Biopsy Using the Medical Imaging Projection System in Breast Cancer Patients, Including Those Following Neoadjuvant Chemotherapy	ANTICANCER RESEARCH. 45: 789:- 796: FEB: 2025	Case report
21	ShimmyoAiri, OnishiShintaro, KantoRyo 他	整形外科	Combined Meniscal Saucerization and Repair Versus Subtotal Meniscectomy for Symptomatic Discoid Lateral Meniscal Tears in Children and Adolescents	ORTHOPAEDIC JOURNAL OF SPORTS MEDICINE. 13: FEB: 2025	Article
22	YohKazunori, NishimuraTakashi, IkedaNaoto 他	超音波センター	Possible Use of Body Surface Area Value for Estimating Skeletal Muscle Mass in Chronic Liver Disease	DIAGNOSTICS. 15: FEB: 2025	Article
23	HigashiyamaTomoki, KuribayashiKojo, DoiHiroshi 他	呼吸器内科	Analysis of Pleiotropic Effects of Nivolumab in Patients with Relapsed Pleural Mesothelioma: A Single-Center Retrospective Study	ONCOLOGY. 2025 JAN 24: 2025	Article
24	UchinoMotoi, TamuraKoji, NomuraShinsuke 他	炎症性腸疾患外科	Wound irrigation and peritoneal lavage with antiseptic/antibiotic solution before wound closure during gastrointestinal surgery: a systematic review and meta-analysis	BMC SURGERY. 25:JAN 23: 2025	Case report
25	NinTomomi, KamikozuruKoji, TakagawaTetsuya 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Clinical features of taste disorders in Cronkhite-Canada syndrome: a report of 10 cases	CHEMICAL SENSES. 50:JAN 22: 2025	Article
26	UchinoM, SonA, KatoT 他	炎症性腸疾患外科	Identification of symbiote candidates for pouchitis in patients with ulcerative colitis	JOURNAL OF CROHNS & COLITIS. 19: i440:- i440: JAN 22: 2025	Case report
27	UchinoM, IkeuchiH, HorioY 他	炎症性腸疾患外科	The short-term efficacy of Filgotinib on antibiotic-dependent/resistant pouchitis in patients with ulcerative colitis	JOURNAL OF CROHNS & COLITIS. 19: i1517:- i1517: JAN 22: 2025	Case report
28	YagiS, FukuiH, IkenouchiM 他	消化管内科	P0790 Effectiveness of Tofacitinib and Filgotinib as An Induction Therapy for Patients with Moderate-to-Severe Ulcerative Colitis: Real-World Comparison in Propensity Score-Matching Analysis	JOURNAL OF CROHNS & COLITIS. 19: i1522:- i1522: JAN 22: 2025	Case report

29	YagiS, FukuiH, IkenouchiM 他	消化管内科	Comparison of Clinical Relapse between Tofacitinib and Filgotinib as Maintenance Therapy in Ulcerative Colitis Patients in Clinical Remission: A Retrospective Propensity Score-Matched Cohort Study	JOURNAL OF CROHNS & COLITIS. 19: i2097;- i2097: JAN 22: 2025	Case report
30	TogashiYusa, NagahashiMasayuki, KashimaMina 他	乳腺・内分泌外科	Germline variants detected by multigene panel testing in patients with suspected hereditary breast cancer	SURGERY TODAY.2025 JAN 20: 2025	Case report
31	NagahashiMasayuki, IshikawaEri, NagaiTakahiro 他	乳腺・内分泌外科	Clinical utility of tumor-infiltrating lymphocyte evaluation by two different methods in breast cancer patients treated with neoadjuvant chemotherapy	BREAST CANCER. 32; 404:- 415: MAR: 2025	Case report
32	SunayamaIsamu, MinKyung-Duk, OriharaYoshiyuki 他	循環器内科	Averaged oxygen desaturation improves the prognostic value of the six-minute walk test in elderly patients with heart failure	AMERICAN JOURNAL OF PHYSIOLOGY-HEART AND CIRCULATORY PHYSIOLOGY. 328; H3:- H13: JAN 8: 2025	Case report
33	IshikawaHiroto, UchidaKazutaka, TerasakiHiroto 他	脳卒中センター	Cystoid macular oedema after flanged intraocular lens scleral fixation using the Yamane technique: a multicentre cohort study	SCIENTIFIC REPORTS. 15; JAN 4: 2025	Article
34	KitajimaKazuhiro, FujiwaraMasayuki, TeradaTomonori 他	放射線医療センター	3D quantitative values of osteoradionecrosis of the jaw derived from 18F-FDG PET/CT and bone SPECT/CT studies	HELLENIC JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE. 28; 8:- 13: JAN-APR: 2025	Review
35	KitajimaKazuhiro, NoguchiKazuma, MorideraKuniyasu 他	放射線医療センター	Utility of 18F-FDG PET/CT in risk assessment of Medication-related osteonecrosis of jaw	HELLENIC JOURNAL OF NUCLEAR MEDICINE. 28; 14:- 19: JAN-APR: 2025	Letter
36	KodamaHiroshi, TakakiHaruyuki, HirataYutaka 他	放射線科	Unilateral Bleomycin-induced Interstitial Pneumonitis Mouse Model With Both a Healthy and a Diseased Lung	IN VIVO. 39; 251:- 256: JAN-FEB: 2025	Article
37	KusunokiHiroshi, HasegawaYoko, NagasawaYasuyuki 他	総合内科	Oral Frailty and Its Relationship with Physical Frailty in Older Adults: A Longitudinal Study Using the Oral Frailty Five-Item Checklist	NUTRIENTS. 17;JAN: 2025	Article
38	MaiChuxian, FukuiAtsushi, SaekiShinichiro 他	産科婦人科	Expression of Nkp46 and other activating inhibitory receptors on uterine endometrial NK cells in females with various reproductive failures: A review	REPRODUCTIVE MEDICINE AND BIOLOGY. 24; JAN: 2025	Article
39	NagahashiMasayuki, UranoSayaka, KomatsuMiki 他	乳腺・内分泌外科	Efficacy of newly developed anti-breast cancer drug targeting sphingosine-1-phosphate utilizing a drug delivery system	CANCER SCIENCE. 116; 1233:- 1233: JAN: 2025	Article
40	SugisawaTakaaki, GomiFumi, HaradaYuri 他	眼科	Factors that contribute to loss to follow-up in the medium term after initiation of anti-vascular endothelial growth factor therapy for neovascular age-related macular degeneration in Japanese patients	PLOS ONE. 20:2025	Case report
41	YagiSoichi, FukuiHirokazu, IkenouchiMaiko 他	消化管内科	Continuous Treatment with Tofacitinib but Not Filgotinib Is Effective in Non-Responders with Active Ulcerative Colitis: A Propensity Score-Matching Analysis	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE. 14;JAN: 2025	Article
42	YamayaAyano, FukuiAtsushi, KawaiKiyotaka 他	産科婦人科	A Comparative Study of Intravenous Immunoglobulin and Lipid Emulsion in Patients With Reproductive Failures Associated With NK Cell Abnormalities	REPRODUCTIVE MEDICINE AND BIOLOGY. 24; JAN: 2025	Article
43	ShimomuraHideki, TaniguchiNaoko, FujinoTetsuro 他	小児科	Association between maternal usage of volatile organic compounds and West syndrome, the Japan Environment and Children's study	SCIENTIFIC REPORTS. 14;DEC 28: 2024	Correction
44	YoshidaMakoto, YuanJiayin, KiharaTakako 他	病理診断科	Anti-tumor effect of antibody-drug conjugate targeting cell adhesion molecule 1 on GIST cells representing small intestinal GIST (vol 139, 104922, 2024)	EXPERIMENTAL AND MOLECULAR PATHOLOGY. 140;DEC: 2024	Article
45	NezuMari, GreenfieldDavid, IqbalUsman 他	臨床研究支援センター	Developing a patient-centered computerized clinical decision support system with patient-level outcome measures	INTERNATIONAL JOURNAL FOR QUALITY IN HEALTH CARE. 36;DEC 7: 2024	Letter
46	YanagiToeki, KanematsuAkihiro, TanakaWataru 他	泌尿器科	History and Determinant of Adult Neurethral Stricture After Hypospadias Repair in Childhood: A Single Center Study Derived From a Single Procedure by a Single Surgeon	UROLOGY. 194; 211:- 215: DEC: 2024	Article
47	ShinmuraKen, NagaiKoutatsu, ShojimaKensaku 他	総合内科	Association between frailty and subjective and objective sleep indicators in Japanese community-dwelling older adults	SLEEP MEDICINE. 126; 185:- 191: FEB: 2025	Article
48	BeppuN, ItoK, OtaniM 他	下部消化管外科	Feasibility of transperineal minimal invasive surgery when performing sacrectomy for advanced primary and recurrent pelvic malignancies	TECHNIQUES IN COLOPROCTOLOGY. 28;DEC: 2024	Article
49	NakamuraTatsuro, KurahashiYasunori, IshidaYoshinori 他	上部消化管外科	The potential of AI-assisted gastrectomy with dual highlighting of pancreas and connective tissue	SURGICAL ONCOLOGY-OXFORD. 58;FEB: 2025	Article
50	KusukawaTomoyuki, MaruoKeishi, ToiMasakazu 他	整形外科	Risk factors of domino osteoporotic vertebral fractures is severe paraspinial muscle fatty degeneration	SPINE JOURNAL. 24; DEC: 2024	Article
51	UchidaKazutaka, BosshartSalome, StebnerAlexander 他	脳卒中センター	Prevalence of ipsilateral vulnerable carotid plaques with <50 % stenosis on CT angiography in embolic stroke of undetermined source	JOURNAL OF THE NEUROLOGICAL SCIENCES. 467; DEC 15: 2024	Article
52	BeppuMikiya, UchidaKazutaka, SakaInobuyuki 他	脳卒中センター	Optimal Endovascular Therapy Technique for Isolated Intracranial Atherothrombotic Stroke-Related Large-Vessel Occlusion in the Acute-to-Subacute Stage	AMERICAN JOURNAL OF NEURORADIOLOGY. 45; 1692:- 1700: NOV: 2024	Article
53	IkenouchiMaiko, FukuiHirokazu, YagiSoichi 他	消化管内科	Effect of tofacitinib and upadacitinib in the treatment of anti-TNF refractory ulcerative colitis	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY AND HEPATOLOGY. 39; 315:- 315: NOV: 2024	Case report
54	KsitanoTakayuki, TomitaToshiko, MienoMasatoshi 他	消化管内科	Long-term outcomes after therapeutic induction in patients with functional dyspepsia	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY AND HEPATOLOGY. 39; 247:- 247: NOV: 2024	Case report
55	YuriYukihisa, NishimuraTakashi, IkedaNaoto 他	肝・胆・膵内科	Long-term Effect of the HCV Elimination With Direct-acting Antivirals on the Progression of Gastroesophageal Varices	IN VIVO. 38; 2968:- 2972: NOV-DEC: 2024	Article
56	MinK D, MatsumotoY, AsakuraM 他	循環器内科	Albuminuria is associated with progression of diastolic dysfunction in patients at risk for cardiovascular disease	EUROPEAN HEART JOURNAL. 45;OCT 28: 2024	Case report
57	MineT, TeraoS, SugitaniM 他	循環器内科	The occurrence of atrioventricular nodal reentrant tachycardia requires not only the electrophysiological substrate but also the electro-anatomical characteristics in the triangle of Koch	EUROPEAN HEART JOURNAL. 45;OCT 28: 2024	Case report
58	MineT, TeraoS, SugitaniM 他	循環器内科	The connection site of the Bachmann bundle to the left atrium affects atrial electrical and anatomical remodeling	EUROPEAN HEART JOURNAL. 45;OCT 28: 2024	Case report
59	SugitaniM, TakanaoM, TakahashiS 他	循環器内科	The intracardiac echocardiographic findings during rewarming using catheter-based cryoablation	EUROPEAN HEART JOURNAL. 45;OCT 28: 2024	Case report

60	TakahashiS, MineT, MikiT 他	循環器内科	The impedance drop early after energy delivery predicts steam pops during radiofrequency ablation	EUROPEAN HEART JOURNAL. 45;OCT 28: 2024	Case report
61	NagahashiM, KomatsuM, UranoS 他	乳腺・内分泌外科	Targeting SIP signaling pathway in triple-negative breast cancer with TP53 mutations	ANNALS OF ONCOLOGY. 35: S1373:- S1374: OCT: 2024	Case report
62	IshikawaEri, WatanabeTakahiro, KiharaTakako 他	病理診断科	The cytokine profile correlates with less tumor-infiltrating lymphocytes in luminal A breast cancer	BREAST CANCER RESEARCH AND TREATMENT. 209; 291:- 302: JAN: 2025	Article
63	UedaTatsuo, AdachiTakumi, HayashiTomoya 他	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Bisphenol A triggers activation of ocular immune system and aggravates allergic airway inflammation	CLINICAL IMMUNOLOGY. 268;NOV: 2024	Article
64	EnomotoHirayuki, TakashimaTomoyuki, AizawaNobuhiro 他	肝・胆・膵内科	ETIOLOGICAL TRANSITIONS IN PATIENTS WITH LIVER CIRRHOSIS AND HEPATOCELLULAR CARCINOMA: A SINGLE-CENTER STUDY FROM AN INSTITUTION LOCATED IN A DISTRICT WITH A HIGH PREVALENCE OF VIRAL HEPATITIS	HEPATOLOGY. 80;OCT: 2024	Case report
65	HigashiyamaT, KuribayashiK, MurakamiM 他	呼吸器内科	Analysis of Pleiotropic Effects of Nivolumab in Patients with Relapsed Pleural Mesothelioma: A Single Center Retrospective Study	JOURNAL OF THORACIC ONCOLOGY. 19: S408:- S409: OCT: 2024	Case report
66	HojoYudai, KurahashiYasunori, KanzakiAkinori 他	上部消化管外科	Females are at higher risk for skeletal muscle loss after sleeve gastrectomy	OBESITY SURGERY. 34: 457:- 457: OCT: 2024	Case report
67	KondoT, OtsukiT, KatoM 他	呼吸器内科	Real-World Evidence of Ipilimumab Plus Nivolumab Combination Therapy in Patients with Malignant Pleural Mesothelioma	JOURNAL OF THORACIC ONCOLOGY. 19: S276:- S277: OCT: 2024	Case report
68	KumaAkihiro, MimuraYasuyuki, NanamiMasayoshi 他	腎・透析内科	Combination of Hyperuricemia and Obesity Is an Independent Risk for CKD in the Young Population	JOURNAL OF THE AMERICAN SOCIETY OF NEPHROLOGY. 35;OCT: 2024	Case report
69	KuribayashiKozo, HiranoJun, 他	呼吸器内科	True Benefits of Immune Checkpoint Inhibitors in the Treatment of Malignant Pleural Mesothelioma in Japan	ANTICANCER RESEARCH. 44: 4135:- 4145: OCT: 2024	Review
70	MatsukawaHidetoshi, UchidaKazutaka, SowlatMohammad-Mahdi 他	脳卒中センター	Impact of Race on Outcomes in the Endovascular and Microsurgical Treatment in Patients With Intracranial Aneurysms	NEUROSURGERY. 95; 807:- 815: OCT: 2024	Article
71	MatsumaeYuta, MorimotoShota, NakamuraMasashi 他	整形外科	The Effectiveness of the Modified Side-Locking Loop Suture Technique with Early Accelerated Rehabilitation for Acute Achilles Tendon Rupture in Athletes	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE. 13: :- : OCT: 2024	Article
72	MikamiK, OtsukiT, FujimotoD 他	呼吸器内科	Effect of Cytotoxic Chemotherapy Following Ipilimumab Puls Nivolumab Combination Therapy for Malignant Pleural Mesothelioma	JOURNAL OF THORACIC ONCOLOGY. 19: S410:- S412: OCT: 2024	Case report
73	MimuraYasuyuki, KumaAkihiro, NanamiMasayoshi 他	腎・透析内科	Study of the Relationship between QTC Time Trends and Microglobulin during Hemodialysis	JOURNAL OF THE AMERICAN SOCIETY OF NEPHROLOGY. 35: :- : OCT: 2024	Case report
74	NakamuraA, HashimotoM, FukudaA 他	呼吸器外科	Influence of Post-Pleurectomy/Decortication Peritoneal Dissemination Recurrence of Pleural Mesothelioma on Long-Term Survival	JOURNAL OF THORACIC ONCOLOGY. 19: S687:- S687: OCT: 2024	Case report
75	NakanoRyota, ShiomiHideyuki, OkamotoMamiko 他	肝・胆・膵内科	Feasibility of Double-Deployment Small-Diameter Covered Metallic Stent for Malignant Distal Biliary Obstruction (with Video)	DIAGNOSTICS. 14;OCT: 2024	Article
76	NanamiMasayoshi, MimuraYasuyuki, KumaAkihiro 他	腎・透析内科	Comprehensive Evaluation of Clinical Consequences in Diverse Fistula Elevation Procedures	JOURNAL OF THE AMERICAN SOCIETY OF NEPHROLOGY. 35;OCT: 2024	Case report
77	NishimuraTakashi, TadaToshifumi, AkitaTomoyuki 他	超音波センター	THE DIAGNOSTIC ABILITY FOR HEPATIC STEATOSIS USING ATTENUATION IMAGING AND CONTROLLED ATTENUATION PARAMETER: A PROSPECTIVE MULTICENTER STUDY IN JAPAN	HEPATOLOGY. 80: S591:- S592: OCT: 2024	Case report
78	OkunoMisako, HottaAki, TanakaYasuhiko 他	小児科	Delusional psychosis in a 14-year old female with Graves' Disease	HORMONE RESEARCH IN PAEDIATRICS. 97: 463:- 464: OCT: 2024	Case report
79	OnishiShintaro, IsekiTomoya, KantoRyo 他	整形外科	Preoperative Joint Line Convergence Angle as an Indicator of Clinical Outcomes and Accuracy of Alignment Correction After Double-Level Osteotomy	ORTHOPAEDIC JOURNAL OF SPORTS MEDICINE. 12: OCT: 2024	Article
80	NakamuraKuo, YohTomooki, NishimuraTakashi 他	肝・胆・膵外科	A classification model for resectability in hepatocellular carcinoma patients	HEPATOLOGY RESEARCH. 55: 94:- 105: JAN: 2025	Article
81	MatsukawaHidetoshi, MatoukCharles, UchidaKazutaka 他	脳卒中センター	Improved technical outcomes with converting thrombectomy techniques after failed first pass recanalization	JOURNAL OF NEUROINTERVENTIONAL SURGERY. ; 2024 SEP 20: 2024	Article
82	IwasakiTakahide, KumaAkihiro, YoshidaMakoto 他	腎・透析内科	Lessons for the clinical nephrologist: legacy effects of bevacizumab and ramucirumab lead to nephrotic syndrome due to renal-limited thrombotic microangiopathy with podocytopathy	JOURNAL OF NEPHROLOGY. 37: 2383:- 2387: NOV: 2024	Article
83	KataokaK, MoriK, NakamuraY 他	下部消化管外科	Survival benefit of adjuvant chemotherapy based on molecular residual disease detection in resected colorectal liver metastases: Subgroup analysis from CIRCULATE-Japan GALAXY	ANNALS OF ONCOLOGY. 35: S459:- S460: SEP: 2024	Case report
84	MitsuoyoshiAyumu, NagahashiMasayuki, KanaokaHaruka 他	乳腺・内分泌外科	Neutrophil-to-lymphocyte ratio at the end of treatment with CDK4/6 inhibitors is an independent prognostic factor for ER-positive HER2-negative advanced breast cancer	INTERNATIONAL JOURNAL OF CLINICAL ONCOLOGY. 29: 1850:- 1859: DEC: 2024	Article
85	IkegameKazuhiro, FukunagaKeiko, OsugiYuko 他	血液内科	Donor-derived cytomegalovirus-specific CD8+ T cells restricted to shared, donor-specific, or host-specific HLA after HLA mismatched hematopoietic stem cell transplantation	TRANSPLANT IMMUNOLOGY. 87;DEC: 2024	Article
86	TsujiShoichiro, KuramotoYoji, RajbhandariSaurjany 他	脳神経外科	Intravenous administration of human amnion-derived mesenchymal stem cells improves gait and sensory function in mouse models of spinal cord injury	FRONTIERS IN CELL AND DEVELOPMENTAL BIOLOGY. 12;SEP 11: 2024	Article
87	HorioYuki, IkedaJota, MatsumotoKentaro 他	炎症性腸疾患外科	Machine learning-based radiomics models accurately predict Crohn's disease-related anorectal cancer	ONCOLOGY LETTERS. 28;SEP: 2024	Article
88	UchidaKazutaka, RinkelLeon A, OspeI Johanna M 他	脳卒中センター	Impact of endovascular treatment for anterior circulation large vessel occlusion stroke on mortality and severe disability: a meta-analysis of randomized controlled trials	CEREBROVASCULAR DISEASES. 53: 72:- 72: SEP: 2024	Case report
89	NakamuraAkifumi, HashimotoMasaki, FunakiSoichiro 他	呼吸器外科	ASO Author Reflections: Postoperative Peritoneal Dissemination Recurrence of Pleural Mesothelioma has a Poor Prognosis	ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY. 31: 6729:- 6730: OCT: 2024	Letter
90	ChenYuekun, WakimotoYu, YanoMizuho 他	産科婦人科	Advancing fertility preservation in prepubertal mice: Efficacy of ovarian tissue culture and in vitro growth in mature oocyte development	JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYNAECOLOGY RESEARCH. 50: 1713:- 1721: SEP: 2024	Article

91	MorimotoTakeshi, SakakibaraFumihito	臨床研究支援センター	Endovascular thrombectomy for large ischaemic stroke: outcomes beyond 90 days	LANCET NEUROLOGY. 23; 847:- 849: SEP: 2024	Letter
92	YokoyamaHiroshi, TakataMasashi, KandaHiroyuki 他	眼科	Assessment of silent reading ability among glaucoma patients using an eye tracking system with horizontally scrolling text	GRAEFES ARCHIVE FOR CLINICAL AND EXPERIMENTAL OPHTHALMOLOGY. 263; 181:- 191: JAN: 2025	Article
93	NakamuraAkifumi, HashimotoMasaki, KurodaAyumi 他	呼吸器外科	Peritoneal Dissemination in Patients with Recurrence After Post-pleurectomy/deortication for Pleural Mesothelioma	ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY. 31; 7767:- 7774: NOV: 2024	Article
94	TakahashiYuri, MorimotoTakeshi, IekushiKazuma 他	臨床研究支援センター	A Medical Claims Database Study of Factors Associated with Medication Adherence and Treatment Persistence in Patients Receiving PCSK9 Monoclonal Antibodies	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS. 32; 163:- 175: : 2025	Article
95	YoshidaMakoto, YuanJiayin, KiharaTakako 他	病理診断科	Anti-tumor effect of antibody-drug conjugate targeting cell adhesion molecule 1 on GIST cells representing small intestinal GIST	EXPERIMENTAL AND MOLECULAR PATHOLOGY. 139: :- : OCT: 2024	Article
96	TokumotoKana, MinoTakuya, TosaKue 他	歯科口腔外科	Long-term follow-up of a patient with Parkinson's disease under nursing care after replacement of fixed implant-supported prostheses with an implant overdenture: a case report	INTERNATIONAL JOURNAL OF IMPLANT DENTISTRY. 10; JUL 29: 2024	Article
97	IshikawaMichiko, MurakamiHiroto, HigashiHideki 他	救急科	Sex Differences of Neutrophil Extracellular Traps on Lipopolysaccharide-Stimulated Human Neutrophils	SURGICAL INFECTIONS. 25; 505:- 512: SEP 1: 2024	Article
98	IshiseH, NakajimaK, NishimotoS 他	形成外科	TREATMENT STRATEGY FOR INSUFFICIENT CLOSURE OF CHRONIC GASTROGASTROUSCULAR FISTULA RESISTANT TO OTSC (OVER-THE-SCOPE-CLIP) THERAPY	WOUND REPAIR AND REGENERATION. 32; 616:- 616: JUL: 2024	Case report
99	KuraganoTakahiro	腎・透析内科	Treatment of Anemia Associated with Chronic Kidney Disease: Plea for Considering Physiological Erythropoiesis	INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR SCIENCES. 25; JUL: 2024	Review
100	MinK D Kyung-Duk, MatsumotoY, AsakuraM 他	循環器内科	Albuminuria predicts the progression of diastolic dysfunction in patients at risk for cardiovascular disease	EUROPEAN JOURNAL OF HEART FAILURE. 26; 188:- 188: JUL: 2024	Case report
101	SunayamaI, MinK, OriharaY 他	循環器内科	Averaged decrease in SpO2 during 6-minute walk test as a novel prognostic marker for elderly heart failure patients	EUROPEAN JOURNAL OF HEART FAILURE. 26; 122:- 123: JUL: 2024	Case report
102	UedaTakashi, NakajimaKazuhiko, IchikiKaoru 他	感染制御部	Association between the hypokalaemia index based on area over the serum potassium concentration curve and occurrence of acute kidney injury in patients administered liposomal amphotericin B	MYCOSES. 67; JUL: 2024	Article
103	NakamuraAkifumi, HashimotoMasaki, KurodaAyumi 他	呼吸器外科	Impact of Operation on Disease Progression and Survival of Patients With Pleural Mesothelioma	ANNALS OF THORACIC SURGERY. 118; JUL: 2024	Article
104	KobataMayuu, MiyamotoKazunori, OobaShohei 他	麻酔科・疼痛制御科	Associations between intraoperative nociceptive response index and early postoperative acute kidney injury in patients undergoing non-cardiac surgery under general anesthesia: a single-center retrospective cohort study	JOURNAL OF CLINICAL MONITORING AND COMPUTING. 38; 1297:- 1304: DEC: 2024	Article
105	HondaHaruka, HasegawaAkiko, ChenYuekun 他	産科婦人科	Anti-tubulin beta 4A (TBB4A) antibody immobilized sperm in a complement-dependent manner in humans	JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY. 164; AUG: 2024	Article
106	WakimotoYu, ChenYuekun, HondaHaruka 他	産科婦人科	Advancements in the detection and implications of sperm-immobilizing antibodies in female infertility	JOURNAL OF REPRODUCTIVE IMMUNOLOGY. 164; AUG: 2024	Article
107	MinKyung-Duk, MatsumotoYuki, AsakuraMasanori 他	循環器内科	Rediscovery of the implication of albuminuria in heart failure: emerging classic index for cardiorenal interaction	ESC HEART FAILURE. 11; 3470:- 3487: DEC: 2024	Review
108	EnomotoHirayuki, AkutaNorio, HikitaHayato 他	肝・胆・膵内科	Etiological changes of liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma-complicated liver cirrhosis in Japan: Updated nationwide survey from 2018 to 2021	HEPATOLOGY RESEARCH. 54; 763:- 772: AUG: 2024	Article
109	JomotoWataru, KimuraKei, KirikiMasato 他	下部消化管外科	Delineation of the internal iliac vein using MRI with true FISP sequence in patients with locally recurrent rectal cancer: A pilot study using CT/ MRI fusion	MAGNETIC RESONANCE IMAGING. 111; 9:- 14: SEP: 2024	Article
110	KojimaKentaro, WatanabeKenji, KawaiMikio 他	消化管内科	Real-world efficacy and safety of tofacitinib treatment in Asian patients with ulcerative colitis	WORLD JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY. 30; APR 7: 2024	Article
111	NakamuraTatsuro, KobayashiNao, KumazuYuta 他	上部消化管外科	Precise highlighting of the pancreas by semantic segmentation during robot-assisted gastrectomy: visual assistance with artificial intelligence for surgeons	GASTRIC CANCER. 27; 869:- 875: JUL: 2024	Article
112	FukuyamaHisashi, IshikawaHirotu, GomiFumi 他	眼科	Impact of drainage retinotomy on surgical outcomes of retinal detachment: insights from the Japan-Retinal Detachment Registry	SCIENTIFIC REPORTS. 14; APR 2: 2024	Article
113	KogameTakehiro, MineTakanao, FukuharaEiji 他	循環器内科	THE INCREASE OF MYOCARDIAL ECHOGENICITY USING INTRACARDIAC ECHOCARDIOGRAPHY DURINGTEMPERATURE-CONTROLLED ANDPOWER-CONTROLLED RADIOFREQUENCY ABLATION	JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY. 83; 73:- 73: APR 2: 2024	Case report
114	SugitaniMiho, MineTakanao, KogameTakehiro 他	循環器内科	SODIUM-GLUCOSE COTRANSPORTER 2 INHIBITORS SUPPRESS RECURRENCE AFTER ATRIAL FIBRILLATION ABLATION IN PATIENTS WITH HIGH BODY MASS INDEX	JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY. 83; 79:- 79: APR 2: 2024	Case report
115	AkahoriHirokuni	循環器内科	New Classification to Predict Postoperative Prognosis After Transcatheter Aortic Valve Implantation	CIRCULATION JOURNAL. 88; 460:- 461: APR: 2024	Letter
116	MorimotoTakeshi, MorikawaToru, ImuraHaruki 他	臨床研究支援センター	Rationale and protocol for a prospective cohort study of respiratory viral infections in patients admitted from emergency departments of community hospitals: Effect of respiratory Virus infection on Emergency admission (EVERY) study	BMJ OPEN. 14; APR: 2024	Article
117	OkunoMasayuki, HatanoEtsuro, TadaMasaharu 他	肝・胆・膵外科	Surgical Intervention After Lenvatinib Treatment in Patients With Advanced Hepatocellular Carcinoma	ANTICANCER RESEARCH. 44; 1727:- 1737: APR: 2024	Article

合計 117

1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含まれるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名、出版年月(原則雑誌掲載月と)、Epub ahead of print or in pressの掲載月は認めない)、巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6.「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

(注) 1.当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2.記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・ 手順書の主な内容 審査及び審査の範囲、申請手続き、他の研究機関の研究にかかる倫理審査、 倫理審査委員の教育、利益相反等について記載	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・ 規定の主な内容 COIマネジメント指針、マネジメント対象者及び対象事項、COIマネジメント委員会の 設置及び運営、学外への情報公開等	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年27回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
・ 研修の主な内容 【研究者倫理講習会 (※web受講)】 日時：2024年7月25日(木)～	

講師：早稲田大学 社会科学部 横野 恵 准教授

参加者：956人（※2025年8月4日時点）

（注）前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

初期臨床研修を修了した卒後3年目以上の医師を対象に専門医を目指すための専門的な研修を行う。当該研修においては、専攻分野ごとに研修プログラムを策定し、研修目標・到達目標の設定や、年次ごとのカリキュラムの設定を通して、効果的な研修が実施できるよう配慮している。  
なお、多数の症例を経験させるために、関連病院とも協働して研修を実施している。  
また、専攻分野によっては、研修期間中に大学院へと進学し、研究を行うことを可能としているものもある。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	187.2人
-------------	--------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
吉原 哲	血液内科	教授	26年	
東 直人	アレルギー・リウマチ内科	准教授	25年	
榎本 平之	肝・胆・膵内科	教授	32年	
小山 英則	糖尿病・内分泌・代謝内科	主任教授	38年	
木島 貴志	呼吸器内科	主任教授	35年	
木村 卓	脳神経内科	主任教授	33年	
倉賀野 隆裕	腎・透析内科	教授	34年	
石原 正治	循環器内科	主任教授	39年	
新崎 信一郎	消化管内科	主任教授	27年	
新村 健	総合内科	主任教授	39年	
松永 寿人	精神科神経科	主任教授	37年	
竹島 泰弘	小児科	主任教授	39年	
廣野 誠子	肝・胆・膵外科	主任教授	25年	
大植 孝治	小児外科	教授	40年	
篠原 尚	上部消化管外科	主任教授	36年	
池田 正孝	下部消化管外科	主任教授	26年	
池内 浩基	炎症性腸疾患外科	主任教授	38年	
下田 雅史	乳腺・内分泌外科	准教授	28年	
坂口 太一	心臓血管外科	主任教授	33年	
舟木 壮一郎	呼吸器外科	主任教授	24年	
橘 俊哉	整形外科	主任教授	34年	
垣淵 正男	形成外科	主任教授	33年	
吉村 紳一	脳神経外科	主任教授	36年	
金澤 伸雄	皮膚科	主任教授	26年	
山本 新吾	泌尿器科	主任教授	38年	

馬淵 誠士	産科婦人科	主任教授	28年
五味 文	眼科	主任教授	32年
都築 建三	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	主任教授	29年
山門 亨一郎	放射線科	主任教授	38年
植木 隆介	麻酔科	教授	29年
寺嶋 真理子	救命救急センター	准教授	27年
道免 和久	リハビリテーション科	主任教授	39年
大江 知里	病理診断科	主任教授	20年
長澤 康行	総合内科	准教授	31年
宮崎 彩子	臨床検査科	准教授	32年
竹田 健太	ICU	准教授	26年
中嶋 一彦	感染制御部	准教授	29年
岸本 裕充	歯科口腔外科	主任教授	36年

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

<p>① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）</p>
<p>・研修の主な内容</p> <p><b>【医療安全管理部】</b></p> <p>① 兵庫医科大学病院における医療安全管理体制および特定機能病院承認要件に関する説明会、 「兵庫医科大学病院における医療安全管理体制について」「未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関すること」「高難度新規医療技術を用いた医療提供に関すること」</p> <p>② 第2回医療講演会「医療ガスの安全使用について」「医療放射線に関する安全管理について」</p> <p>③ 第3回医療講演会 医療機器安全研修「ME機器の安全使用について」</p> <p>④ 第4回医療講演会「診療情報管理室と診療録管理委員会のはたらきについて」「診療録（カルテ）の記載について「報告書サポートチーム」</p> <p>⑤ 第5回医療講演会「輸血検査に関わる検体と輸血用血液製剤の取り扱いについて」「輸血の安全な投与」「医療用麻薬の取り扱いにおける注意点について」「医療事故調査制度について」</p> <p>・研修の期間・実施回数</p> <p>① R6. 5. 27～</p> <p>② R6. 6. 24～</p> <p>③ R6. 7. 22～</p> <p>④ R6. 11. 7～</p> <p>⑤ R7. 1. 27～</p> <p>・研修の参加人数</p> <p>① 1,406名</p> <p>② 1,311名</p>

③ 693名

④ 517名

⑤ 806名

【感染制御部】

・研修の主な内容

病院感染対策に関する研修

① 第1回院内講演会「Clostridioides difficile感染症」

② 第2回院内講演会「培養検体の適正な採取」

③ 第3回院内講演会「クリーンハンドキャンペーン」

④ 第4回院内講演会「抗微生物薬の適正使用のために知っておきたい副作用」

⑤ 第5回院内講演会「感染対策の基本 ～標準予防策 経路別予防策～」

⑥ 第6回院内講演会「ワクチン（麻疹・インフルエンザ）」

⑦ 第7回院内講演会「環境清掃／消毒」

⑧ 第8回院内講演会「手指衛生と手湿疹」

⑨ 第9回院内講演会「カテーテル関連尿路感染（CAUTI）対策」

⑩ 第10回院内講演会「耐性菌と抗菌薬適正使用」

・研修の期間・実施回数

病院感染対策に関する研修（第3回クリーンハンドキャンペーンは、実習による研修、その他の講演会については、e-LearningおよびDVD貸出で実施）

①2024. 4. 1～ ②2024. 4. 1～ ③2024. 7. 16～7. 19、2024. 9. 9～9. 13 ④2024. 9. 17～

⑤2024. 9. 25～ ⑥2024. 12. 16～ ⑦2024. 12. 20～ ⑧2025. 1. 24～ ⑨2025. 3. 7～

⑩2025. 3. 12～

・研修の参加人数

①1,160名 ②1,416名 ③2,092名 ④982名 ⑤779名 ⑥572名 ⑦676名 ⑧484名

⑨319名 ⑩214名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

【感染制御部】

- ① 外部委託：（株）オーエンス清掃作業従事者「清掃作業員に対する感染予防研修」
- ② 看護部：リンクナース/感染防止委員「手指衛生」
- ③ 看護部：リンクナース/感染防止委員「デバイス感染対策」
- ④ 看護部：リンクナース/感染防止委員「WHO手指衛生多角的戦略 手指衛生自己評価フレームワーク（HHSAF）使用方法」
- ⑤ 看護部：看護師ラダー「感染対策の基本 ～標準予防策・経路別予防策～」
- ⑥ 看護部：看護助手「看護助手会」
- ⑦ 看護部：病棟クラーク「クラーク研修会」
- ⑧ 看護部：病棟クラーク「新採用病棟クラーク研修」
- ⑨ 薬剤部：薬剤師「抗微生物薬の相互作用について」
- ⑩ 薬剤部：薬剤師「骨関節感染+症例」
- ⑪ 薬剤部：薬剤師「尿路感染症+症例」
- ⑫ 薬剤部：薬剤師「腹腔内感染+症例」
- ⑬ 薬剤部：薬剤師「細菌性髄膜炎+症例」

・研修の期間・実施回数

- ① 2025. 1. 24 ②2024. 6. 13 ③2024. 7. 18 ④2024. 12. 17 ⑤2024. 6. 5、2024. 6. 10（2回）  
⑥2024. 11. 22 ⑦2024. 10. 4、2024. 11. 29（2回） ⑧2024. 11. 22 ⑨2024. 5. 15  
⑩2024. 7. 31 ⑪2024. 9. 27 ⑫2024. 12. 17 ⑬2025. 1. 23

・研修の参加人数

- ① 39名 ② 46名 ③ 47名 ④ 47名 ⑤ 100名 ⑥ 82名 ⑦ 45名 ⑧ 7名 ⑨ 35名  
⑩ 42名 ⑪ 39名 ⑫ 42名 ⑬ 41名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・ 研修の主な内容
- ・ 研修の期間・実施回数
- ・ 研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 2. (現状)
管理責任者氏名	病院長 池内 浩基
管理担当者氏名	管理課長 永井 大樹、医事課長 福田 禎夫、総務課長 竹嶋 文敏 医療マネジメント課長 川上 健太、薬剤部長 木村 健

		保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	管理課	保管部署及び電子カルテ上にて管理している。 なお、画像保存通信システム (PACS) は平成 21 年 3 月 16 日より、電子カルテシステムは平成 25 年 2 月 25 日より稼働している。 また、入院診療録・外来診療録については如何なる場合においても院外への持ち出しはできないが、画像診断記録及びその他の診療記録については所定の手続きを経ることにより持ち出しの許可を受けることができる。	
		各科診療日誌	診療各科		
		処方せん	薬剤部		
		手術記録	医療マネジメント課、診療各科		
		看護記録	診療各科		
		検査所見記録	医療マネジメント課		
		エックス線写真	医療マネジメント課		
		紹介状	医療マネジメント課		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	電子媒体及び紙媒体をファイリングすることで管理している	
		高度の医療の提供の実績	管理課		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	研究推進課		
		高度の医療の研修の実績	医療人教育課		
		閲覧実績	-		
		紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課		
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	管理課 薬剤部	
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	電子媒体及び紙媒体をファイリングすることで管理している。 一部指針等については院内向けホームページでも公開している。
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部				

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	電子媒体及び紙媒体をファイリングすることで管理している。一部指針等については院内向けホームページでも公開している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部 医療マネジメント課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部 医療マネジメント課
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部 医療マネジメント課
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療安全管理部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療マネジメント課
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療マネジメント課
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全管理部
		監査委員会の設置状況	医療安全管理部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部 感染制御部 管理課
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部
		職員研修の実施状況	医療安全管理部 感染制御部 管理課
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	管理課
管理者が有する権限に関する状況	管理課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	内部監査室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	2. 現状
閲覧責任者氏名	病院事務部長 小寺 斉人
閲覧担当者氏名	管理課長 永井 大樹、医事課長 福田 禎夫 医療マネジメント課長 川上 健太
閲覧の求めに応じる場所	管理課会議室、医事課会議室
閲覧の手続の概要 諸記録の閲覧を請求できる者である病院に患者を紹介しようとする医師及び歯科医師並びに国及び地方公共団体は、当院病院事務部長に「兵庫医科大学病院諸記録閲覧申請書」に必要事項を記入のうえ、申請を行うことで閲覧の許可を得ることができる。	

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I. はじめに            II. 医療安全管理体制確保のための委員会規約            III. 当院における医療安全管理体制図            IV. 院内死亡患者における届出について            V. 兵庫医科大学病院における異状死体の届出に関する基準            VI. 医療事故を起こした職員・当該部署職員への心理的支援について            VII. 患者相談に関するフローチャート            VIII. 大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針</p>	
<p>② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況</p> <p>・ 設置の有無（有）</p> <p>①医療安全審議委員会            ②医療安全対策委員会</p> <p>・ 開催状況：①年 20 回 ②年 12 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>①医療安全審議委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特定機能病院承認要件に関すること</li> <li>・ 医療事故の原因究明・再発防止に関すること</li> <li>・ 医療事故の公的機関（報道機関を含む）への報告に関すること</li> <li>・ 医療訴訟に関すること</li> <li>・ 各委員会における審議内容等の監査に関すること</li> <li>・ 改正医療法に関すること</li> </ul> <p>②医療安全対策委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療にかかる医療安全管理のための指針に関すること</li> <li>・ 医療事故発生時の対応に関すること</li> <li>・ 医療事故の分析、改善の立案、実施及び職員への周知に関すること</li> <li>・ セイフティーマネージャーの活動に関すること</li> <li>・ 医療安全管理に関する職員の教育・研修に関すること</li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>①兵庫医科大学病院における医療安全体制および特定機能病院承認要件に関する説明会、（第1回医療講演会）R6.5.27            「兵庫医科大学病院における医療安全管理体制について」            「未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関すること」            「高難度新規医療技術を用いた医療提供に関すること」</p> <p>②第2回医療講演会 R6.6.24            「医療ガスの安全使用について」            「医療放射線に関すること」</p> <p>③第3回医療講演会 医療機器安全研修 R6.7.22            「ME機器の安全使用について」</p> <p>④第4回医療講演会 R6.11.7            「診療情報管理室と診療録管理委員会のはたらきについて」            「診療録（カルテ）の記載について」</p>	

「報告書サポートチーム」

⑤第5回医療講演会 R7.1.27

「輸血検査に関わる検体と輸血用血液製剤の取り扱いについて」

「輸血の安全な投与」

「医療用麻薬の取り扱いにおける注意点について」

「医療事故調査制度について」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有 ・ 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

- ① 発生したインシデント・アクシデントに対して、部長、副部長、専従セイフティマネージャーが発生部門のセイフティマネージャーと共に、内容分析、改善策の検討並びに患者・家族への対応の指示を行う。医療安全対策委員及び各部署のセイフティマネージャーから構成される「オンラインインシデント検討会」を毎週開催し、部門に改善策の助言提案を行う。
- ② 報告のあった医療事故に対し、医療安全審議委員会等で原因を分析し、改善策の検討を行う。迅速な対応が必要な場合、臨時で医療安全審議委員会および医療事故等検討部会を開催し、原因分析・対応策の検討を行う。事案に応じて事故発生1ヶ月後・3ヶ月後（必要時6ヶ月後）に医療安全管理部（専従SM）と当該部署のセイフティマネージャーが、改善策の実施状況を検証し、医療安全審議委員会に報告している。
- ③ 発生したインシデント・アクシデント内容によりテーマを設定し、看護部事故防止委員会・各部署のセイフティマネージャーと連携して、院内監査ラウンドなどを実施している。
- ④ 毎年6月と2月の医療安全強化月間には、テーマを決め各部署の安全への取り組みを症例支援している。同時に医療安全対策委員会の委員のラウンドを企画し、広く職場の現状を把握し他部署の見学・現場確認をするなどの機会となっている。
- ⑤ 医療安全NEWSを毎月発行し、当院のインシデント・アクシデント情報・再発防止策・事故後の検証結果、他施設の事故事例、医療安全情報（厚生労働省・各種学会・PMDA等）などを掲載し、職員に周知している。
- ⑥ 初期研修医に対し、インシデント発生要因の分析や再発防止策を検討する機会を設け、医療安全対策委員会等で報告することによって、医療安全意識のボトムアップ効果と将来的な医師によるインシデント報告の増加を目指し、医療安全教育の一環として行っている。
- ⑦ 医療安全管理部員が参加している「エコーガイド下CVC挿入推進チーム」と共に安全な医療提供に向け、臨床現場での課題の把握と対策の実施、及び職員教員を行っている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	①・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>①感染管理に関する基本的な考え方                  ②感染管理体制                  ③職員の教育・研修                  ④感染症の発生時の報告                  ⑤感染症の発生状況の報告                  ⑥感染症の発生時の対応                  ⑦病院感染対策のための指針の閲覧                  ⑧病院感染対策のための指針の見直し・改正</p>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：感染対策委員会                  病院感染対策に関する事項を調査・審議し、院内感染症発生時の原因の分析、改善策の立案、実践、周知等感染管理を推進している。なお、必要があるときには臨時で開催する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年39回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>病院感染制御に対する基本的な考え方及び具体的施策の周知、業務を遂行する上での知識・技能の向上及び病院感染制御に対する意識の高揚を目的として、教育・研修を実施している。</p> <p>●病院感染制御をテーマとする講演会を開催（全職員対象） …年6回</p> <p>① 2024. 4. 1～ 第1回院内講演会 テーマ「Clostridioides difficile感染症」</p> <p>② 2024. 4. 1～ 第2回院内講演会 テーマ「培養検体の適正な採取」</p> <p>③ 2024. 7. 16～7. 19、2024. 9. 9～9. 13 第3回院内講演会 テーマ「クリーンハンドキャンペーン」</p> <p>④ 2024. 9. 17～ 第4回院内講演会 テーマ「抗微生物薬の適正使用のために知っておきたい副作用」</p> <p>⑤ 2024. 9. 25～ 第5回院内講演会 テーマ「感染対策の基本 ～標準予防策 経路別予防策～」</p> <p>⑥ 2024. 12. 16～ 第6回院内講演会 テーマ「ワクチン（麻疹・インフルエンザ）」</p> <p>⑦ 2024. 12. 20～ 第7回院内講演会 テーマ「環境清掃／消毒」</p> <p>⑧ 2025. 1. 24～ 第8回院内講演会 テーマ「手指衛生と手湿疹」</p> <p>⑨ 2025. 3. 7～ 第9回院内講演会 テーマ「カテーテル関連尿路感染（CAUTI）対策」</p> <p>⑩ 2025. 3. 12～ 第10回院内講演会 テーマ「耐性菌と抗菌薬適正使用」</p> <p>●新採用（異動）者を対象とした研修</p> <p>2024. 4. 1～ テーマ「病院感染予防策の基本」（4月～採用職員）</p> <p>2024. 4. 4～ テーマ「院内感対策の実践」（4月採用臨床研修医）</p> <p>2024. 4. 11 テーマ「感染防止対策の基本 ～キ・ホ・ンの”キ”～」（4月採用看護職者）</p> <p>2024. 4. 1～2025. 3. 31（毎月開催） テーマ「新入職時院内感染対策研修（オリエンテーション）」（中途採用病院職員対象）</p>	

●職種別研修（以下の職種を対象に研修、教育、指導を実施）

- ・臨床研修室  
2024. 9. 26  
テーマ「抗菌薬選択の考え方」（臨床研修医）
- ・看護部  
①2024. 6. 5、2024. 6. 10  
テーマ「感染対策の基本（経路別予防策）」（看護師ラダーⅠ）  
②2024. 6. 13  
テーマ「手指衛生」（感染リンクナース/感染防止委員）  
③2024. 7. 18  
テーマ「デバイス感染対策」（感染リンクナース/感染防止委員）  
④2024. 12. 17  
テーマ「WHO手指衛生多角的戦略手指衛生自己評価フレームワーク（HHSAF）使用方法」（感染リンクナース/感染防止委員）  
⑤2024. 10. 4、2024. 11. 29  
クラーク研修会（病棟クラーク）  
⑥2024. 10. 29  
看護助手会（看護助手）  
⑦2024. 11. 22  
新採用病棟クラーク研修会（病棟クラーク）
- ・薬剤部（対象はすべて薬剤師）  
①2024. 5. 15  
テーマ「抗微生物薬の相互作用について」  
②2024. 7. 31  
テーマ「骨関節感染+症例」  
③2024. 9. 27  
テーマ「尿路感染症+症例」  
④2024. 12. 17  
テーマ「腹腔内感染+症例」  
⑤2025. 1. 23  
テーマ「細菌性髄膜炎+症例」
- ・その他  
2025. 1. 24  
テーマ「清掃作業員に対する感染予防研修」（清掃作業従事者）

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備（有・無）
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

病院で取り決めた感染症発生時は、マニュアルに従って、各診療科より報告される。緊急対応が必要な病原体は別途定め「感染症発生時の対応パターン分類」に基づいて対応し、必要により感染対策委員会でも審議の上、対策を講じている。

耐性菌については「レベル別分類」を別途設けており、レベルに応じた対策を講じる。耐性菌検出時は即時に対応しており、保菌者に対しても感染管理ラウンドにより感染対策の実践状況を評価し適宜介入する。

GLABSI、CAUTI、VAEサーベイランスを全病院で実施している。

アウトブレイクを疑う事例が発生した場合は、「アウトブレイク発生時の対応」に基づき対応する。アウトブレイクの可能性が高いと判断した場合、感染制御部による原因の究明ならびに感染拡大防止策を実施する。更にレベル4以上の多剤耐性菌については、1例目の検出からアウトブレイク対応として迅速に対応することとしている。

院内の感染症治療および抗菌薬の適正使用支援に関しては、抗菌薬適正使用支援ラウンドとして、感染症治療に関するコンサルテーションに対する対応、ICUでの重症患者治療、無菌検体から検出した病原体への治療介入、新規耐性菌に対する感染症の評価（必要時治療介入）およびタゾバクタム/ピペラシリンとカルバペネム系抗菌薬使用症例の翌日および使用後の72-96時間後の評価とフィードバックを行う。抗緑膿菌活性を有する抗菌薬の使用割合をDOT（1000患者日あたりの使用日数）で評価し、カルバペネム系 30%、タゾバクタム/ピペラシリン 30%、第4世代セファロスポリン系/セフトジジム等 30%、注射用 ニューキノロン系 10%を目標として使用割合をコントロールし、抗菌薬の適正使用を推進している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>① 新規採用職員対象入職時研修 R6.4.1～ 「医薬品の安全管理について」 演者 兵庫医科大学病院 薬剤部 木村 健</p> <p>② 臨床研修医オリエンテーション R6.4.3 「医薬品の安全管理について」 演者 兵庫医科大学病院 薬剤部 木村 健</p> <p>③ 兵庫医科大学病院における医療安全管理体制および特定機能病院承認要件に関する説明会、 (第1回医療講演会) 「未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関すること」 演者 兵庫医科大学病院 副院長 医薬品安全管理責任者 木島 貴志</p> <p>④ 第5回医療講演会 R7.1.27～ 「輸血検査に関わる検体と輸血用血液製剤の取り扱いについて」 演者 兵庫医科大学病院 臨床検査技術部 係長 奥田 典子</p> <p>⑤ 第5回医療講演会 R7.1.27～ 「輸血の安全な管理と投与」 演者 兵庫医科大学病院 学会認定・臨床輸血看護師 副看護師長 植村 綾香</p> <p>⑥ 第5回医療講演会 R7.2.27～ 「医療用麻薬の取り扱いにおける注意点について」 演者 兵庫医科大学病院 麻薬管理者 薬剤部次長 多田 雅美</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	<p>・ 手順書の作成 (有)・無 )</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院で用いる医薬品の採用・購入などに関する事項</li> <li>・ 医薬品の管理に関する事項</li> <li>・ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項</li> <li>・ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項</li> <li>・ 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱いに関する事項</li> <li>・ 他施設との連携に関する事項</li> <li>・ 放射性医薬品の取り扱いに関する事項</li> <li>・ 院内製剤の調製及び使用に関する事項</li> <li>・ 未承認新規医薬品等の使用に関する事項</li> <li>・ 未承認等の医薬品の使用に関する事項</li> </ul> <p>医薬品の安全使用のための業務手順書に基づく業務の実施については、業務確認票を用いてセイフティマネージャーと薬剤師で相互にチェックを行い、医薬品安全管理責任者に報告し確認が行われている。</p>
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)・無 )</p>	

・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：

未承認等の医薬品（適応外使用又は禁忌使用）は、各診療科が未承認新規医薬品等評価委員会に届け出ることによって把握するシステムが構築されている。具体的な使用事例としては、整形外科より軟部組織感染症における持続局所高濃度抗菌薬灌流法として、ゲンタシン注の局所持続注入よその際使用する医療機器としてナーヴィー サクション カテーテルの報告がなされている。

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- ・ 保険診療等で適用が承認されていない治療や薬品等の使用を行い緊急避難的な治療を行う場合、医療倫理委員会に申請して審査を受けることができる。
- ・ 医師の処方した薬剤の使用が未承認医薬品の使用若しくは適応外又は禁忌等の使用方法に該当することを発見した医師・薬剤師等は、薬学的見地に基づき必要に応じて処方した医師等に対して、処方の必要性や妥当性等を確認し処方の変更等の提案を行っている。
- ・ 緊急安全性情報、安全性速報などの迅速な対応を必要とする情報提供は、その経過の記録を保管している。その他、必要に応じて医薬品適正使用のために周知すべき注意喚起情報は、月1回の医療安全ニュースに掲載し、その閲覧状況を確認している。
- ・ 医薬品安全管理責任者に指名された担当者は、院内の医薬品の使用状況を月1回程度定期的に確認し、その結果を踏まえて添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、安全性速報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に関わる情報を整理し、必要に応じてその結果を医薬品安全管理責任者に報告している。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年139回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の主な内容：</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">以下の機器を中心に取り扱い方法・安全対策について研修を行っている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人工呼吸器 ・ 血液浄化装置 ・ 除細動器 ・ 補助循環装置 ・ 不整脈治療関連機器</li> <li>・ 保育器 ・ 輸液ポンプ ・ 医療ガス ・ 放射線装置等</li> </ul>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 ( ○有・無 )</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">以下の装置に対しては定期点検（外観点検，機能点検，作動点検）を実施している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電気メス ・ 体外式ペースメーカー ・ 透析装置 ・ 血液浄化装置 ・ 保育器 ・ 人工心肺装置</li> <li>・ 補助循環装置 ・ 除細動器 ・ AED ・ 人工呼吸器 ・ 麻酔器 ・ 輸液ポンプ</li> <li>・ シリンジポンプ ・ ベッドサイドモニター ・ セントラルモニター</li> <li>・ 下肢深部静脈血栓予防装置 ・ 超音波診断装置 ・ 筋電計</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ○有・無 )</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容：</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	①・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>・医療安全管理責任者は、医療安全管理者（医療安全管理部長、専従セイフティマネージャー）とともに、病院長から委譲された権限に基づいて安全管理に関する院内の体制を構築し、医療安全対策委員会の円滑な運営を図っている。</p> <p>・医療安全管理責任者は、医療安全対策委員会を開催、議事進行を行い、決議事項を病院長に報告している。</p> <p>・医療安全管理責任者は、医療安全管理部の構成員である医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者と連携し、職種・部門間の調整を図りながら、医薬品、医療機器および診療用放射線の安全使用が確保されるように業務を行っている。</p> <p>・医療機器安全管理責任者は医療安全管理に関する必要な情報を医療安全管理部長より報告を受ける。重篤な有害事象に対しては、医療安全審議委員会に出席し、審議する。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	②（3名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品安全管理責任者が指名した薬剤師（医薬品安全管理者）が、院内の医薬品の使用状況を月一回程度定期的に確認し、その結果を踏まえて添付文書情報、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時等の医薬品安全管理に係る情報を整理し、必要に応じてその結果を医薬品安全管理責任者に報告している。医薬品安全管理責任者は報告された情報を踏まえて、必要に応じて医薬品安全責任者に指示して DI ニュースで当該情報を院内に通知している。特に重要な情報については医療安全ニュースの「医薬品安全使用のための注意喚起情報」に掲載し、その周知状況については全診療科の閲覧記録を確認している。また、これらの手順は医薬品の安全使用のための業務手順書に記載して院内に周知している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認等の医薬品（適応外使用又は禁忌使用）は、各診療科が未承認新規医薬品等評価委員会に届け出ることによって病院として把握するシステムが構築されている。未承認新規医薬品等評価委員会は必要に応じて当該診療科に対して指導を行う。また、医薬品が適応外又は禁忌等で使用されたことを発見した医師・薬剤師等は、薬学的見地に基づいて必要に応じて処方した医師等に対して疑義照会を行う。</p> <p>・担当者の指名の有無 ①・無</p> <p>・担当者の所属・職種：（所属： 薬剤師 ， 職種 薬剤師 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	④有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：インフォームド・コンセントワーキングを設置し、規程に基づき説明文書・同意書等の審査承認を行い、診療情報管理室において管理統括している。また、多職種がチームとなり、対象診療科の医師(病棟医長)・看護師長立ち会いの下、全診療科を対象に「オーディット」を実施している。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	④有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>責任者として病院長の直轄下に診療情報管理室長(医師)を設置(選任)しており、診療情報管理士による診療録管理の統轄を行っている。また毎年全診療科を対象に医師、看護師、診療情報管理士、医事課職員がチームとなり、診療科の医師(病棟医長)並びに看護師長立ち会いの下、「オーディット」を実施している。さらに、診療録管理委員会による診療録記載ルールの策定、医療者への指導を行っている。</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	④有・無
<p>・所属職員：専従(4)名、専任( )名、兼任(17)名  うち医師：専従(1)名、専任( )名、兼任(7)名  うち薬剤師：専従(1)名、専任( )名、兼任(1)名  うち看護師：専従(2)名、専任( )名、兼任(1)名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>①安全管理体制の構築、委員会の運営、指針、マニュアルの改訂など</p> <p>②医療事故を防止するための情報収集、分析、改善策の立案、フィードバック、評価</p> <p>③改善策実施のための各部門への依頼、調整、助言</p> <p>④安全管理対策の実施状況の調査、分析</p> <p>⑤セイフティマネージャーの活動支援</p> <p>⑥医療安全に関する職員への教育・研修の実施</p> <p>⑦医療事故への対応・届出・公表を含み事故発生後の対応、事故の要因分析</p>	

⑧全死亡事例への検証（院内死亡患者届出票・死亡患者リスト）

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（9件）、及び許可件数（9件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）
- ・活動の主な内容：
  - ① 医療安全管理部の求めるところにより、当該高難度新規医療技術の提供に関する倫理的・科学的な妥当性、本院で当該高難度新規医療技術を提供することの適切性並びに当該高難度新規医療技術の適切な提供方法（科学的根拠が確立していない医療技術については、有効性及び安全性の検証の必要性や、本院の体制等を勘案した上で、臨床研究として実施する等、科学的根拠の構築に資する実施方法について検討することを含む。）について審査を行い、当該高難度新規医療技術の提供の適否及び提供後に報告を求める症例数等について評価する。
  - ② 前号において評価した結果を、兵庫医科大学病院医療安全審議委員会および医療安全管理部長に対し適否結果意見書（答申書）により答申する。
  - ③ 1号で決定した報告を求める症例（数）に対し、術後1年間の経過を医療安全管理部が追跡観察し、当該委員会に報告する。
  - ④ 高難度新規医療技術として承認を受けた技術に対して、医療安全管理部が6ヶ月ごとに安全に実施されているか否かのモニタリングを行い、当該員会に報告している。
  - ⑤ その他、高難度新規医療技術の適切な提供方法に関すること。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（15件）、及び許可件数（15件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・活動の主な内容：

診療科の長から提出された未承認新規医薬品等の申請内容を確認し、未承認新規医薬品等評価委員会に対して、当該未承認新規医薬品等を用いた医療提供の適否、実施を認める条件等について意見を求めている。評価委員会からの意見に基づき適否等について決定し、申請を行った診療科の長に対し適否結果通知書により通知を行い、また適否等の決定については病院長に報告を行っている。診療科の長は当該未承認新規医薬品等を用いた医療を提供した後、未承認新規医薬品等評価委員会が定める症例数、及び患者が死亡した場合、その他必要とされる場合には、未承認新規医薬品等実施報告書を当部門に提出することになっている。また承認後1年毎に患者使用状況を提出することになっており、それに基づき診療録等の記載内容の確認を行い、当該未承認新規医薬品等を用いた医療が適正な手続きに基づいて提供されているか確認している。また遵守状況の確認後はその内容を病院長に報告している。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

#### ⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 533 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 214 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

影響レベル 3b 以上の事例・事象は『事実関係報告書』を提出することとして、予期せぬ合併症、重篤な合併症事例の報告を受け委員会で検討している。

死亡事例報告に関しては、平成 28 年 7 月から『院内死亡患者届出票』の様式・運用を決定し提出を促して運用している。

#### ⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：産業医科大学病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：産業医科大学病院）・無）

・技術的助言の実施状況

・初期臨床研修医にインシデント報告を促す取り組みはすばらしいが、アクシデントに対する分析と改善策の検討は複数部署で行うよう指摘を受けたため、毎週開催の医療安全管理部内ミーティングで検討し医療安全審議委員会で報告検討し必要に応じて緊急医療安全審議委員会を開催し多職種で検討しています。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者及び患者家族からの相談は、医療支援センターを窓口としている。内容に応じて医療安全管理部、医療支援課医療安全係に連絡が入ることになっている。また、診療科、病棟、外来を介しても医療安全管理部に連絡が入るので、その都度対応している。また、患者相談に応じるため、メディエーター研修等を受講している。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ① 兵庫医科大学病院における医療安全管理体制および特定機能病院承認要件に関する説明会、「兵庫医科大学病院における医療安全管理体制について」「未承認新規医薬品等を用いた医療提供に関すること」「高難度新規医療技術を用いた医療提供に関すること」
- ② 第2回医療講演会「医療ガスの安全使用について」「医療放射線に関する安全管理について」
- ③ 第3回医療講演会 医療機器安全研修「ME機器の安全使用について」
- ④ 第4回医療講演会「診療情報管理室と診療録管理委員会のはたらきについて」「診療録（カルテ）の記載について「報告書サポートチーム」
- ⑤ 第5回医療講演会「輸血検査に関わる検体と輸血用血液製剤の取り扱いについて」「輸血の安全な投与」「医療用麻薬の取り扱いにおける注意点について」「医療事故調査制度について」

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修

の実施状況

・研修の実施状況

特定機能病院管理者	2025年1月17日受講
医療安全管理責任者	2024年12月13日受講
医薬品安全管理責任者	2024年12月12日受講
医療機器安全管理責任者	2024年11月26日受講

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

2024年4月5日付 認定更新（一般病院3）

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

ホームページ上に公表中

・評価を踏まえ講じた措置

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容                      人格、学識ともすぐれ、医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力等、医療安全確保のために必要な資質・能力を備え、かつ兵庫医科大学病院の理念に沿い、病院の管理運営に必要な資質・能力を有する者                      (兵庫医科大学病院病院長選考規程 第3条第1項に規定)</li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法                      本学ホームページに掲載</li> </ul>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( 有 ・ 無 )</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無
				有 ・ 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		(有)・無	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・合議体の主要な審議内容 病院の管理運営に関して情報交換、情報共有を行うとともに、病院運営の円滑化、効率化や病院経営の健全化に向け必要かつ重要な事項を審議する（合議体名：病院幹部会議 月2回開催）</li> <li>・審議の概要の従業者への周知状況 病院部長会、医局長会議、学内調整連絡会等にて周知を行う。 また、当該合議体である病院幹部会議の規程第2条において、病院部長会への報告と職員の周知が定められている</li> <li>・合議体に係る内部規程の公表の有無 (有)・無)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公表の方法 院内ホームページに掲載</li> </ul> </li> <li>・外部有識者からの意見聴取の有無 (有)・無)</li> </ul>			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
池内 浩基	○	医師	病院長
木島 貴志		医師	副院長、がんセンター長
篠原 尚		医師	副院長
廣瀬 宗孝		医師	副院長
山門 享一郎		医師	副院長
木村 卓		医師	副院長
高橋 仁美		看護師	副院長・看護部長
木村 健		薬剤師	薬剤部長
源 貴裕		放射線技師	放射線技術部長
狩野 春艶		臨床検査技師	臨床検査技術部長
小寺 斉人		事務職員	病院事務部長
中嶋 一彦		医師	感染制御部長
田中 宏幸		医師	医療安全管理部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- ・公表の方法：院内ホームページに掲載

・規程の主な内容：病院長の任務と権限、任期等

※病院長規程

第3条（病院長の任務と権限）に基づき、管理運営上必要な意思決定、人事、予算執行に関する適切な権限を有する。

・管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

病院規程第4条第1項において、病院長の職務を円滑にするため、副院長を置くと規定しており、また同条第5項に基づき、兵庫医科大学病院副院長職務内規を規定し、副院長の職務権限、責任を定めており、現在、以下6名を配置している。

（所属・役職等）	（担当）
上部消化管外科診療部長	外科部門長、医療の質・医療安全管理、教育研究体制、機能評価
麻酔科診療部長	働き方改革、急性医療総合センター、医療倫理、病院経営
放射線科診療部長	情報システム、高難度新規医療技術評価
呼吸器内科診療部長	内科部門長、がん診療、未承認新規医薬品等評価
脳神経内科診療部長	地域連携、診療体制、篠山・梅田連携
看護部部長	療養環境、患者サービス、病床管理

・病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況  
各職種の管理職（マネジメントを担う人員）に対する研修を実施

◆人事考課

◆病院の運営方針研修会

◆令和6年度トップマネジメント研修

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 監査委員会の開催状況：年 2 回 第1回：2024年7月9日 第2回：2025年2月10日</li> <li>・ 活動の主な内容： 病院長から医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全審議委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者の業務が適切に実施されているか等について説明（報告）を求めるとともに実地（外部委員を含めた立ち入り調査を含む）で監査を行う。</li> <li>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有）</li> <li>・ 委員名簿の公表の有無（有）</li> <li>・ 委員の選定理由の公表の有無（有）</li> <li>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有）</li> <li>・ 公表の方法： 兵庫医科大学病院のホームページにて記載</li> </ul>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
宮崎 浩彰	関西医科大学 医療安全管理 センター副セ ンター長 (兼任) 消化器 肝臓内科/理事 長特命教授(医 師)	○	医療に係る安全 管理に関する見 解を有する者	有・ <del>無</del>	1
亀井 尚也	かけはし法律 事務所(弁護 士)		法律に関する見 解を有する者	有・ <del>無</del>	1
辰馬 勝	関西学院同窓 会顧問		医療を受ける者 の立場から意見 を述べることが できる者	有・ <del>無</del>	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを  
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

内部監査室による監査の実施（学校法人兵庫医科大学内部監査規程）  
理事長直轄の組織として、内部監査室を設置している。  
監査対象は、法人、大学、病院であり法人全体としている。  
年度監査計画に毎年実施する定期監査として「特定機能病院の管理者（病院長）に係る業務の  
執行状況」を組み入れ、実施している。  
監査結果は理事長へ報告するとともに、被監査部署へ通知している。  
指摘事項等に対する改善状況はフォローアップ監査を実施し改善済となるまで確認している。

- ・ 専門部署の設置の有無（  有 ・  無 ）
- ・ 内部規程の整備の有無（  有 ・  無 ）
- ・ 内部規程の公表の有無（  有 ・  無 ）
- ・ 公表の方法

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 年6回（定例）の理事会の開催</li> <li>・ 会議体の実施状況（年7回）※定例開催6回、臨時開催1回</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年7回）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）</li> <li>・ 公表の方法</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）</li><li>・ 通報件数（年 0 件）</li><li>・ 窓口を提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有）</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）</li><li>・ 周知の方法<ul style="list-style-type: none"><li>■ 医療安全に関する通報 → 医療安全管理部 → スタッフマニュアル・ホームページに掲載</li><li>■ 公益通報 → 内部監査室 → ホームページに掲載</li><li>■ 病院運営情報全般 → 管理課 → 教職員宛に通知のうえホームページ記載</li></ul></li></ul>